第3学年

シラバス

2023

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

基本理念

本学は、高等の教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

教育の目標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 科学的根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修業年限以上在籍し，所定の単位数を修得するとともに，以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

- 生命体との関連性に幅広い知識を有し，必要に応じて応用できる能力
- 幅広い教養と倫理観を持つプロフェッショナリズムを備えた医療人として行動できる能力
- 根拠に立脚した歯科医学知識を生涯学び続け，患者の問題を発見し解決する能力
- 高いコミュニケーション能力を身につけ，患者および医療系多職種と良好な連携が構築できる能力
- 専門に偏らない幅広い知識を身につけ，その基本的技能を実践する能力
- 超高齢社会に対応した地域包括ケアを実践できる能力
- 医療人として国際社会において幅広く活動できる能力
- 生涯にわたり自らの能力向上のため研鑽する能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

建学の精神である「自主独立」のもと，ディプロマポリシー（学位授与方針）に掲げる人材を育成するために，以下の通りカリキュラムを編成している。

- ディプロマ・ポリシー達成のため，シラバスに全授業科目の到達目標，学習方略，評価方法を明記し，学習計画を提示します。
- 歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
- 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学，人文・社会科学，語学教育，情報科学教育を行うとともに，医療人の基礎となるコミュニケーション能力，倫理観，プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
- 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により，医療従事者としての国際感覚を醸成します。
- PBLチュートリアルにより，論理的思考に基づく問題解決能力，科学的探究心を養成します。
- 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学，臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに，臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。

- 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習（シミュレーション実習）による技能・態度の習得を目指した教育，ならびに医療スタッフの一員として参加するために必要な社会歯科学の教育を実施します。
- 学生が医療スタッフとして参加し，その一員として診療業務を分担しながら，歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
- 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して，訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
- 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
- 教育課程の進級審査において，シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

シラバス

1. シラバスとは
履修する上での必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。

2. シラバスの役割
 - 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
 - 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
 - 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
 - 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。

3. シラバスの構成
 - 1) 一般目標 (GIO)
学習により期待される成果を示す。
 - 2) 行動目標 (SBOs)
学習者の到達すべき行動目標を示す。
 - 3) 学習方略
目標に到達するために必要な学習方法を示す。
 - 4) 評価方法
目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。
 - 5) 授業内容
授業によって学生が何を学習できるかを示す。
 - 6) 準備学習
受講における予習・復習の具体的な内容を示す。
 - 7) オフィスアワー
質問や相談に応じるために設定した曜日・時間・場所等を示す。

授業科目一覽表

No.	科 目	前 期	後 期
1	早期臨床実習Ⅱ	※ ※ ※	
2	地域口腔保健学	※ ※ ※	
3	口腔保健学実習	※ ※ ※	
4	分子生命科学実習	※ ※ ※	
5	組織・口腔組織学実習	※ ※ ※	
6	生理学実習	※ ※ ※	
7	生体防御学	※ ※ ※	
8	感染微生物学・生体防御学実習	※ ※ ※	
9	口腔病理学	※ ※ ※	
10	病理診断学実習		※ ※ ※
11	歯科薬物療法学実習	※ ※ ※	
12	歯科理工学	※ ※ ※	
13	歯科放射線学	※ ※ ※	※ ※ ※
14	保存修復学	※ ※ ※	※ ※ ※
15	歯冠補綴架工義歯学		※ ※ ※
16	歯内療法学	※ ※ ※	※ ※ ※
17	歯周疾患治療学	※ ※ ※	※ ※ ※
18	顎口腔機能診断学	※ ※ ※	※ ※ ※
19	顎口腔機能診断学実習		※ ※ ※
20	歯科矯正学	※ ※ ※	※ ※ ※
21	歯科矯正学実習		※ ※ ※
22	小児歯科学		※ ※ ※
23	部分床義歯補綴学		※ ※ ※
24	全部床義歯補綴学		※ ※ ※
25	口腔顎顔面外科学	※ ※ ※	※ ※ ※
26	口腔腫瘍学		※ ※ ※
27	歯科症候学演習		※ ※ ※
28	総合基礎医学演習	※ ※ ※	※ ※ ※
科目総数		19	17

新潟生命歯学部の授業科目等

授 業 料 目	単位数	計
医学概論・歯科医学史	1.5	1.5
早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ	1.0	1.0
臨床から振り返る基礎学	1.5	1.5
初年次セミナー	1.5	1.5
プロフェッション	2.0	2.0
社 会 学	1.5	1.5
自 由 科 目	経 済 学	3
	ドイツの生活と情報	
青 年 心 理 学	1.5	2.25
臨 床 心 理 学	0.75	
原子核と放射線	1.5	4.5
物質の構造と反応	1.5	
生命の連続性と遺伝子	1.5	
熱と物質の物理	3	3
生体物質の化学	3	3
細胞の生物学	3	3
自然現象の数学	3	3
環境学の基礎	1.5	1.5
歯学入門演習	2	2
国語表現法	3	3
総 合 英 語	1.5	5.25
実用医学英語Ⅰ・Ⅱ	2.25	
英 語 会 話	1.5	
基礎独語	1.5	1.5
情報科学の実習	1	1

授 業 料 目	単位数	計
医 療 倫 理	0.75	0.75
医 療 法 律 学	1.5	1.5
社会歯科入門	0.75	0.75
歯科医療コミュニケーション実習	0.8	0.8
ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ	0.75	0.75
健 康 科 学 Ⅰ	1.5	1.5
健 康 科 学 Ⅱ	0.75	0.75
歯 科 法 医 学	0.75	0.75
医療情報・医療管理学	0.75	0.75
基礎口腔保健学	1.5	3.5
地域口腔保健学	1.5	
口腔保健学実習	0.5	
生 化 学	1.5	3.5
口 腔 生 化 学	1.5	
分子生命科学実習	0.5	
解 剖 学	3	9.75
解 剖 学 実 習	2	
口 腔 解 剖 学	1.5	
口 腔 解 剖 学 実 習	1	
発 生 学	0.75	
人 類 学	1.5	4
組 織 学	1.5	
口 腔 組 織 学	1.5	
組織・口腔組織学実習	1	4
生 理 学	3	
生 理 学 実 習	1	
感 染 微 生 物 学	3	5.5
生 体 防 御 学	1.5	
感染微生物学・生体防御学実習	1	
病 理 学	1.5	4
口 腔 病 理 学	1.5	
病 理 診 断 学 実 習	1	
薬 物 療 法 学	1.5	4
歯 科 薬 物 療 法 学	1.5	
歯 科 薬 物 療 法 学 実 習	1	
歯 科 薬 剤 学	1.5	1.5
歯 科 理 工 学	4.5	5.5
歯 科 理 工 学 実 習	1	

授 業 料 目	単位数	計
歯科放射線学	3	3
歯科麻酔と救急処置	3	3
口腔顎顔面外科手術学	1.5	3.1
口腔外科学・全身管理学実習	1.6	
保存修復学	3	4.6
保存修復学実習	1.6	
歯内療法学	3	4.6
歯内療法学実習	1.6	
歯周疾患治療学	3	4
歯周疾患治療学実習	1	
顎口腔機能診断学	3	4
顎口腔機能診断学実習	1	
歯科矯正学	3	4
歯科矯正学実習	1	
小児歯科学	3	4
小児歯科学実習	1	
部分床義歯補綴学	3	4.6
部分床義歯補綴学実習	1.6	
全部床義歯補綴学	1.5	3.1
全部床義歯補綴学実習	1.6	
歯冠補綴架工義歯学	3.0	6.2
歯冠補綴架工義歯学実習	3.2	
口腔顎顔面外科学	4.5	6
口腔顎顔面外科診断治療学	1.5	
高齢者歯科学	1.5	1.5
障害者歯科学	0.75	0.75
歯科心身医学	0.75	0.75

授 業 料 目	単位数	計
専門歯科治療概論	1.5	1.5
医療統計学	0.75	0.75
生体機能調節学	1.5	1.5
地域包括ケア学	1.5	1.5
材料科学	1.5	1.5
顎口腔運動制御学	0.75	0.75
唾液と唾液腺	0.75	0.75
臨床診査・検査学	1.5	1.5
口腔腫瘍学	1.5	1.5
歯性感染症	0.75	0.75
顎咬合診断・口腔インプラント学	1.5	2.3
口腔インプラント実習	0.8	
歯科医学入門演習	2	4
歯科症候学演習	2	
歯科医のための内科学	3	3
外科学	1.5	1.5
耳鼻咽喉科学	1.5	1.5
臨床(病院)実習	10	10
基礎医学演習	1	3
総合基礎医学演習	1	
臨床歯学探究	1	
総合科目①②③	6	6
包括歯科医学	2	2
合 計	199.55	

第3学年 授業科目 目次

— 前 期 —

早期臨床実習Ⅱ	12
地域口腔保健学	14
口腔保健学実習	16
分子生命科学実習	18
組織・口腔組織学実習	20
生理学実習	22
生体防御学	24
感染微生物学・生体防御学実習	26
口腔病理学	28
歯科薬物療法学実習	32
歯科理工学	34
歯科放射線学	38
保存修復学	40
歯内療法学	42
歯周疾患治療学	44
顎口腔機能診断学	46
歯科矯正学	48
口腔顎顔面外科学	50
総合基礎医学演習	54

— 後 期 —

病理診断学実習	58
歯科放射線学	60
保存修復学	62
歯冠補綴架工義歯学	64
歯内療法学	66
歯周疾患治療学	70
顎口腔機能診断学	72
顎口腔機能診断学実習	74
歯科矯正学	76
歯科矯正学実習	78
小児歯科学	80
部分床義歯補綴学	82
全部床義歯補綴学	84
口腔顎顔面外科学	86
口腔腫瘍学	88
歯科症候学演習	92
総合基礎医学演習	96

第3学年 前期授業科目 目次

早期臨床実習Ⅱ	12
地域口腔保健学	14
口腔保健学実習	16
分子生命科学実習	18
組織・口腔組織学実習	20
生理学実習	22
生体防御学	24
感染微生物学・生体防御学実習	26
口腔病理学	28
歯科薬物療法学実習	32
歯科理工学	34
歯科放射線学	38
保存修復学	40
歯内療法学	42
歯周疾患治療学	44
顎口腔機能診断学	46
歯科矯正学	48
口腔顎顔面外科学	50
総合基礎医学演習	54

早期臨床実習Ⅱ

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
高橋 靖之	3	前期	金曜日	14:40～16:20	新潟病院

科目の到達目標 (GIO)

社会のニーズに適応できる歯科医師となるために、医療を学ぶ学生としての望ましい態度を再確認し、基礎と臨床を統合できる能力の必要性を認識したうえで、医療の本質について理解する。

著者・编者	書名	版	出版社
教科書			
参考書			

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL、TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (80%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度、遅刻、欠席を含む) (20%)

成績評価方法

実習の内容に対して、レポート (80%)、遅刻、欠席 (20%) で評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：金曜日 16:30～18:00 場所：新潟病院 歯科麻酔・全身管理科医局、事前にメールで要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月9日	高橋 靖之	オリエンテーション	1) 歯科医学生にふさわしい基本的な振る舞い、身だしなみ、言葉遣いを実践する。(A-1～3) 2) 自分の目標とする歯科医師像を述べる。(A-3)
	準備学習	自分の目標とする歯科医師像をイメージしておく。	
6月16日	吉岡 裕雄 白野 美和 渥美 陽二 両角 祐子	(必修) 訪問歯科口腔ケア科	1) 要介護者の安全な診療姿勢と体位変換の方法を説明する。(E-5-1)-⑥) 2) 車いす使用時の注意事項を説明する。(E-5-1)-⑥))
	準備学習	要介護者とはどういう人か調べ、理解しておく。	
	佐久間 要 城井 友幸	(必修) 口腔外科	1) 小手術に必要な器具の安全な取り扱いを実践する。(E-1-4)-③) 2) 粘膜の切開・縫合に必要な器具の用法を説明する。(E-1-4)-⑤)
	準備学習	参考図書：最新口腔外科学第5版 p533-540 について参照する。	
6月23日	高橋 靖之 斎藤 芳秀 押切 孔	(必修) 歯科鎮静リラックス外来	1) 歯科医療の流れを説明する。(A-3) 2) 歯科領域における専門性について説明する。(A-7-3)
6月30日	準備学習	参考図書：常用歯科辞典第4版 p927 について参照する。	
7月7日	若木 卓	(必修) 臨床シミュレーション	1) 歯科用器具を安全に操作ができる F-1-2)-①) 2) 患者情報を収集分析できる。F-1-1)-①
7月14日	準備学習	参考図書：常用歯科辞典第4版 p927 について参照する	
8月25日	織田 隆昭	(選択) 放射線科	1) 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影の種類および適応を説明する。(E-1-2)-⑥) 2) 造影検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮影法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明する。(E-1-2)-⑨)
	準備学習	参考図書：医歯薬出版第6版歯科放射線学 p131-218 を参照する。	
	北澤 裕美	(選択) 小児歯科・矯正歯科	1) コミュニケーションを通じて良好な人間関係を構築する。(A-4-1)-②) 2) 矯正治療の目的と意義を説明する。(E-4-1)-①)
	準備学習	参考図書：歯科矯正学第6判 p87-99, 146-148 について参照する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月16日 6月23日 6月30日 7月7日 7月14日 8月25日	瀬戸 宗嗣 鈴木 梨菜	(選択) 口腔インプラントセンター	1) 口腔インプラントの種類, 特徴, 目的及び意義を説明する。(E-3-4)-(3)① 2) 口腔インプラントに必要な検査を説明する。 3) 口腔インプラントの流れを説明する。(E-3-4)-(3) ④ 4) 口腔インプラントのメンテナンスを説明する。(E-3-4)-(3) ⑥
	準備学習	参考図書: 常用歯科辞典第4版 p91-94 について参照する。	
	猪子 芳美	(選択) 睡眠歯科センター	睡眠時無呼吸の原因, 診察, 検査, 診断および治療を概説する。(E-2-4)-(11)-⑥ 睡眠関連の医療チームの役割と分担, 連携を説明する。(A-7)
	準備学習	参考図書: 常用歯科辞典第4版 p52, 889-897, 1264, 1449, 1666-1667 および最新口腔外科学第5版 p475-479 について学習する。	
	関 秀明 海老原 隆 吉井 大貴	(選択) 白い歯外来	1) 生活歯の変色の原因, 種類, および処置を説明する。(E-3-3)-(1)-① 2) 失活歯の変色の原因, 種類, および処置を説明する。(E-3-3)-(2)-⑥
	準備学習	参考図書: 保存修復学第7版 p85-90 について参照する。	
	渥美陽二郎 水橋 亮 高橋 睦	(選択) スポーツ歯科外来	1) マウスガードの目的を述べる。(E-2-4)-(2)-③ 2) マウスガードの製作方法を説明する。(E-2-4)-(2)-③
	準備学習	参考図書: 常用歯科辞典第4版 p1519 について参照する。	
	高塩 智子 大森みさき	(選択) いき息さわやか外来	1) 口臭症の分類について記述する。(E-3-3)-(3)-① 2) 口臭の原因物質について列挙する。(C-4-1)-(3)-② 3) 口臭の検査方法について列挙する。(E-3-3)-(3)-② 4) 舌苔の除去方法について説明する。(E-2-2)-③
	準備学習	参考図書: 口腔衛生学 2020 p144-150 を参考に講義テーマについて学習。	
	水橋 亮 水橋 史 清水 公夫 渡會 侑子 後藤 翔 鈴木 翔平	(選択) あごの関節・歯ぎしり外来	1) 顎関節症の問診を説明できる。(E-1-1)-(3) 2) 顎運動・顎関節の診査を説明できる。(E-2-4)-(7)-② 3) 顎顔面領域の筋の触診を説明できる。(E-2-4)-(7)-② 4) 咬合診査を説明できる。(E-2-4)-(7)-②
	準備学習	参考図書: 常用歯科辞典第4版 p243-244, 404, 516 について参照する。	
	戸谷収二	(選択) 口のかわき治療外来	1) 口腔乾燥症の概要を説明する。(E-2-4)-(10)-⑤ 2) 口腔乾燥症の基本的な検査を実施する。(E-1-1)-(15) 3) 口腔乾燥症の検査結果を説明する。(E-1-1)-(15)
	準備学習	テキスト p41-42, 382-384 の要点を確認する。	
	小根山隆浩	(選択) 歯科アレルギー治療外来	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫不全の症状を列挙する。(E-2-4)-(9)-③ 2) アレルギーの分類を説明する。(C-3-2-⑤) 3) 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明する。(C-3-2-⑥)
	準備学習	テキスト p41-42, 382-384 の要点を確認する。	
太田 信	(選択) あごのかたち・咬み合わせ外来	1) 顎変形症の分類, 原因, 治療法を説明する。(E-2-4)-(1)-③ 2) 矯正装置の種類と特徴, および使用目的を説明する。(E-4-1-③)	
準備学習	参考図書: 歯科矯正学第6版 p345 (医歯薬出版) について参照する。		
小林英三郎	(選択) 歯の細胞バンク外来	1) 歯髄の構造と機能に関する基本的知識を習得する。(E-3-1-⑤) 2) 多能性幹細胞と基本的な発生学的技術に関する基本的知識を習得する。(C-3-2-②)	
準備学習	歯髄, 多能性幹細胞に関して調べておく。		
小林英三郎	(選択) MRONJ外来	1) 老化(骨粗鬆症)の特徴に関する基本的知識を習得する。(E-5-1)-①, ② 2) 悪性腫瘍の骨転移に関する基本的知識を習得する。(C-5-6)-⑥ 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用に関する基本的知識を習得する。(E-2-4)-(10)-⑦	
準備学習	骨粗鬆症, 悪性腫瘍の骨転移について調べておく。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月24日	小松崎 明	保健の体系 (保健施設)	1) 厚生労働省について説明する。(B-2-2)-1) 2) 保健所について説明する。(B-2-2)-1) 3) 市町村保健センターについて説明する。(B-2-2)-1) 4) 健康診査, 保健指導の体系について説明する。(B-2-2)-1)
	準備学習	「歯学生のための健康科学第2版」第5章を参考に講義テーマについて学習する。	
5月31日	鴨田 剛司	医療経済, 保健戦略	1) 国民医療費について説明する。(B-2-2-2) 2) 医療経済の分析手法について説明する。(B-4-2)-④) 3) 保健戦略, 地域保健の進め方について説明する。(B-2-2)-⑧) 4) ポピュレーションストラテジーを説明する。(B-3-1-3)
	準備学習	「歯学生のための健康科学第2版」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月7日	鴨田 剛司	母子保健政策	1) 行政が実施する母子保健事業について説明する。(B-2-2)-1) 2) 母子保健に関する人口統計指標を説明する。(B-2-2)-1) 3) 母子保健戦略の概要を説明する。(B-2-2)-1)
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月21日	小野 幸絵	学校保健	1) 学校保健の二大領域について説明する。(B-3-2)-④) 2) 学校三師について説明する。(B-3-2)-④) 3) 養護教諭, 保健主事について説明する。(B-3-2)-④) 4) 学校での健康診断・歯科保健指導について説明する。(B-3-2)-④)
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月28日	福田 雅臣 (交換講義)	産業保健	1) 産業保健の三管理について説明する。(B-3-2)-④) 2) 職域における健康保持増進対策(THP)について説明する。(B-3-2)-④) 3) 産業保健対策と職業性疾病について説明する。(B-3-2)-④) 4) 労働災害予防と労災補償について説明する。(B-3-2)-④)
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月5日	小松崎 明	高齢者保健, 障害者福祉, 児童福祉	1) 高齢者の口腔の特徴について説明する。(B-3-2)-⑤) 2) 障害と口腔疾患の予防について説明する。 3) 児童虐待と歯科疾患の関連について説明する。 4) 障害者福祉, 児童福祉制度の概要を説明する。(B-2-2)-④)
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月12日	鴨田 剛司	国家統計の概要, 国際保健	1) 国家統計を列挙する。(B-4-2-1) 2) 国家統計の目的と結果の意義を説明する。 3) 国際協力, 国際交流の概要について説明する。 4) WHOなどの国際機関について説明する。
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月19日	黒川 泉	母子保健, 妊産婦保健	1) 1歳6か月児健康診査について説明する。(B-3-2)-④) 2) 3歳児健康診査について説明する。(B-3-2)-④) 3) 妊婦健康診査について説明する。(B-3-2)-④) 4) 母子健康手帳について説明する。(B-3-2)-④)
	準備学習	「口腔保健・予防歯科学」を参考に講義テーマについて学習する。	
8月23日	小松崎 明	公的扶助, 健康危機管理, 子育て支援対策, へき地医療対策	1) 生活保護について説明する。(B-2-2)-3) 2) 医療扶助, 介護扶助の特徴について説明する。(B-2-2)-3) 3) 子育て支援について説明する。(B-2-2)-3) 4) 健康危機管理について説明する。(B-2-2)-3)
	準備学習	「歯学生のための健康科学第2版」を参考に講義テーマについて学習する。	
8月30日	小松崎 明	社会の変遷と 衛生行政の歴史	1) 公衆衛生対策の世界史について説明する。(B-3-2)-⑥) 2) 日本の公衆衛生対策の変遷について説明する。 3) 疫学の歴史について説明する。(B-4-1)-1) 4) 将来の公衆衛生対策の展望について説明する。
	準備学習	「歯学生のための健康科学第2版」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
8月24日	小松崎 明 鴨田 剛司 小野 幸絵 高塩 智子 黒川 泉 小松崎 豊 伊井 久貴	口腔診査(2) 歯の状況	1) 口腔疾患の診査に必要な要件について説明する。(B-4-1)-3) 2) 口腔疾患のスクリーニング法について説明する。(B-4-1)-2) 3) 口腔診査用器具の取り扱いについて説明する。(B-4-1)-2) 4) 口腔内診査を実施し、診査方法と記録方法について説明する。(B-4-1)-2)
準備学習:「歯学生のための健康科学第2版」を参考に実習テーマについて学習する。			
8月29日		口腔診査(3) 口腔清掃状況 口腔ケア実習	1) OHI 診査を実施する。(B-4-1)-3) 2) 口腔清掃, 歯垢染め出しの意義を説明する。(B-3-2)-⑤) 3) 使用歯磨剤の成分を観察する。(B-3-2)-2) 4) スポンジブラシを用いた口腔清掃を実践する。(B-4-1)-3)
準備学習:「歯学生のための健康科学第2版」を参考に実習テーマについて学習する。			
8月29日		地域歯科保健学演習	1) 統計学的なデータの分類を説明する。(B-4-2)-4) 2) 主な保健医療統計を説明する。(B-4-2)-2) 3) データの集計方法を説明する。(B-4-2)-4) 4) データの集計処理を実施する。(B-4-2)-4) 5) 集計結果からデータの分布を評価する。(B-4-2)-4)
準備学習:「歯学生のための健康科学第2版」を参考に実習テーマについて学習する。			
8月31日		試験	

分子生命科学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
森田 貴雄	3	前期	火・木曜日	13:00～16:00	5号館2階 理工学・生化学実習室

科目の到達目標 (GIO)

生体内物質についての臨床診断学的知識を有する歯科医となるために、血液および唾液中の物質の定性・定量技法を習得する。また、先端的技能および知識を有する歯科医となるために、遺伝子解析手法を習得しその方法および結果を説明する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科大学大学生化学講座	分子生命科学実習書		日本歯科大学
参考書	林 典夫, 廣野治子 (監修)	シンプル生化学	改訂第7版	南江堂
	早川太郎, 須田立雄 (監修)	口腔生化学	第6版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (25%) 論述試験 (25%) 口頭試験 (%) レポート (40%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択形式 (25%) および記述式 (25%) 筆記試験と、各実習内容についてのレポート (40%), および実習への参加態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間: 16:00～18:00 (在室時) 場所: 8号館3階生化学教授室または5号館3階生化学講座
(事前に連絡があればこの限りではない) 問合せメールアドレス: ga-seika(at)ml.ngt.ndu.ac.jp

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月27日	森田 貴雄 竹澤 晴香 今井あかね 螺良 修一 坂井 幸子	実習序説および計量と比色法の実践	1) 研究マインドを涵養する態度を身に付ける。(A-8-1)) 2) 生命科学的な考え方を実践する。(A-8-1)-1) 3) 生命科学研究を実践する。(A-9-1)-④)
6月29日		血清タンパク質の定量と成分分離	1) タンパク質定量法を理解する。(C-2-1)-1) 2) 血清タンパク質成分を理解する。(C-3-4)-(4)-④) 3) タンパク質分離原理を説明する。(C-2-1)-1, C-2-2)-⑤)
7月4日		アミラーゼの検出と活性測定	1) 唾液アミラーゼを理解する。(E-2-2)-⑤) 2) 酵素活性測定原理を説明する。(C-2-1)-⑤)
7月6日		PCRと制限酵素による遺伝子解析(1)	1) PCR法を実践する。(C-2-2)-⑤) 2) 遺伝子検査を実践する。(C-2-2)-⑤)
7月11日		PCRと制限酵素による遺伝子解析(2)	1) 制限酵素分解を説明する。(C-2-2)-⑤) 2) 遺伝子多型と体質との関係を説明する。(C-2-2)-④) 3) 遺伝子多型による酵素活性の相違を理解する。(C-2-2)-④, C-2-1)-⑤)
7月13日	森田 貴雄 竹澤 晴香	実習試験	

組織・口腔組織学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
熊倉 雅彦	3	前期	火・木曜日	9:00～12:00	4号館2階 病理・組織・微生物学実習室

科目の到達目標 (GIO)

生体の微細構造をより深く理解するために、組織標本（プレパラート）を顕微鏡観察して組織・器官の正常構造を確認するとともに、本実習を通して観察力を養い、病理診断など臨床分野の基盤となることを認識する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	相磯貞和 (訳)	人体組織図譜	第11版	南江堂
参考書	田畑 純	口腔の発生と組織	改訂4版	南山堂

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (30%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (60%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目について、毎回の実習テーマについての観察記録 (60%), ならびに実習に対する関心・意欲・態度 (10%) の評価と、実習最終日に行う客観試験 (30%) により総合的評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：火・木曜日 時間帯：16:30～17:00 場所：解剖学第2講座研究室 (4号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月6日 (木)	辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 片桐 浩樹	オリエンテーション 血球 血球の種類と形態的特徴	1) 実習の進め方と顕微鏡の使用法を説明する。 2) 各血球の構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(4)-(4))
		準備学習：第1学年時の歯学入門実習で使用した顕微鏡の使い方を復習する。	
4月11日 (火)		上皮組織 細胞配列による上皮組織の分類	1) 細胞の配列により分類する。(C-3-4)-(1)-(4)) 2) 各上皮組織を構成する細胞の形を比較する。(C-3-4)-(1)-(4)) 3) 構成する細胞の機能を分類する。(C-3-4)-(1)-(4)) 4) 各上皮組織の体内分布を述べる。(C-3-4)-(1)-(4))
		準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。	
4月13日 (木)		支持組織 骨組織の構造的特徴	1) 骨組織を構成する骨層板を観察・記載し、分類・比較する。(C-3-4)-(2)-(3))
	準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。		
4月18日 (火)	筋組織 平滑筋組織、骨格筋組織の構造的特徴	1) 平滑筋組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(1), (2)) 2) 骨格筋組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(C-3-4)-(3)-(1), (2))	
	準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。		
4月20日 (木)	神経組織 脳、神経節の構造的多様性	1) 神経系を構成する基本組織を説明する。(C-2-3)-(5)-(4)) 2) 脳を観察・記載し、その特徴を説明する。(C-2-3)-(5)-(4)) 3) 神経節を観察・記載し、その特徴を説明する。(C-2-3)-(5)-(4))	
	準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月25日 (火)	辻村麻衣子 横須賀宏之 熊倉 雅彦 片桐 浩樹	歯と歯周組織の発生 形成過程にある歯胚の 各要素の構造	1) 歯胚を観察・記載し、構成する各要素の構造を具体的に説明する。 (E-3-1)-①) 2) 歯胚の各要素から発生する歯・歯周組織を正確に説明する。(E-3-1)-①, ⑥)
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
4月27日 (木)		歯-1 象牙質, 歯髄の構造	1) 脱灰標本を用いて、歯を構成する各組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(E-3-1)-④) 2) 歯髄表層部の歯原帯を説明する。(E-3-1)-⑤) 3) 歯髄深層部の構造を説明する。(E-3-1)-⑤)
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
5月9日 (火)		歯-2 エナメル質, 象牙質, セメント質の構造	1) 研磨標本を用いて、歯を構成する各組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。(E-3-1)-④) 2) 各硬組織の成長線の名称と構造を説明する。(E-3-1)-④)
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
5月11日 (木)		歯周組織 歯肉, 歯根部周囲の 組織構造	1) 歯周組織を構成する各組織を観察・記載し、構造的特徴を説明する。 (E-3-1)-⑥) 2) 歯根がどのように歯槽骨と連結しているか説明する。(E-3-1)-⑤, ⑥)
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
5月16日 (火)	舌乳頭 糸状・茸状・有郭乳頭の 組織構造	1) 舌乳頭の分布と形態を説明する。(E-2-2)-③)	
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
5月18日 (木)	唾液腺 耳下腺, 顎下腺, 舌下腺の 形態的特徴	1) 大唾液腺の存在部位と導管開口部を説明する。(E-2-2)-⑥) 2) 耳下腺, 顎下腺および舌下腺の終末部と導管系の構造的特徴を説明する。 (E-2-2)-⑥)	
準備学習：教科書や2年時の講義ノート等を参考に、今回の実習で何を観察するのかについて予習する。			
5月23日 (火)	試 験	組織像を観察して実習成果を説明する。	
準備学習：実習帳の観察スケッチと所見について復習する。			

生理学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 義英	3	前期	火・木曜日	13:00～16:00	5号館2階 生理学・薬理学・衛生学実習室

科目の到達目標 (GIO)

臨床歯科医学を理解するために、人体を被験者として実験を実施し、組織、器官、個体レベルでの生体の正常な生理機能の仕組みを観察・分析・理解する基礎知識・態度・技能を修得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	日本歯科大学新潟生命歯学部 生理学講座	生理学実習書		
参考書	岩田幸一・井上富雄・船橋誠・ 加藤隆史 (編集)	基礎歯科生理学	第7版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (32%) 論述試験 (32%) 口頭試験 (%) レポート (30%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (6%)

成績評価方法

到達目標 (GIO) で示した項目についての客観試験 (多選択肢形式試験, 32%), 論述試験 (筆記試験, 32%), レポート (30%) と実習に対する関心・意欲・態度 (6%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 火曜日 時間帯: 12:00～12:30
場所: 生理学講座教授室 (5号館3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月6日	佐藤 義英 高橋 睦	オリエンテーション 実習前講義	1) 味覚検査法を述べる。(C-3-4)-(6)-①) 2) 咬合力と咀嚼能力測定法を述べる。(E-2-1)-(8) 3) 血圧測定法を述べる。(C-3-4)-(4)-③)
	準備学習	実習書 p6-24 を読み, 要点を確認する。	
4月11日	佐藤 義英 高橋 睦 今湊 良証	以下の4テーマの実習を4つのグループ分けて毎時間並列して行う。 1, 咬合力と咀嚼能力 2, 皮膚の感覚 3, 聴診法による血圧測定 4, 高度による血圧の差と呼吸による心拍変動	1) 咬合力と咀嚼能力を測定し, その性質を説明する。(E-2-1)-(8) 2) 皮膚における体性感覚を測定し, その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(6)-②) 3) 血圧を測定し, その性質とメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-③)
4月13日			
4月18日			
4月20日			
	準備学習	実習書 p6-21, 参考書 p91-93, 180-191, 380-383 を読み, 要点を確認する。	
4月25日	佐藤 義英 高橋 睦	DVD 視聴 (運動系と感覚器系)	1) 筋組織の機能を説明する。(C-2-3)-(1)-(8) 2) 骨格筋収縮の特徴と機序を説明する。(C-2-3)-(2)-(4) 3) 特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明する。(C-3-4)-(6)-①)
	準備学習	参考書 p42-47, 221-243, 16章を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月27日	佐藤 義英 高橋 睦	DVD 視聴 (血液循環)	1) 心臓の構造, 発生, 機能及び心電図波形を説明する。(C-3-4)-(4)-①) 2) 血液循環(肺循環と体循環)の経路を説明する。(C-3-4)-(4)-②) 3) 血管の構造と血圧調節機能を説明する。(C-3-4)-(4)-③)
5月9日	佐藤 義英 高橋 睦	味覚検査	1) 味覚検査を行い, その性質とメカニズムを説明する。 (C-3-4)-(6)-①), E-2-2)-⑩)
5月11日	佐藤 義英 高橋 睦	論述・客観試験	1) 味覚の特徴を記述する。(C-3-4)-(6)-①) 2) 咀嚼の制御機構を記述する。(E-2-1)-⑧) 3) 咀嚼筋の機能を記述する。(E-2-1)-③) 4) 皮膚・口腔感覚の特徴を記述する。(C-3-4)-(6)-②), E-2-2)-②) 5) 血圧調節機構を記述する。(C-3-4)-(4)-③)
5月16日	佐藤 義英 高橋 睦	実習後講義	1) 味覚の特徴を説明する。(C-3-4)-(6)-①) 2) 咀嚼の制御機構を説明する。(E-2-2)-⑥) 3) 咀嚼筋の機能を説明する。(E-2-1)-③) 4) 皮膚・口腔感覚の特徴を説明する。(C-3-4)-(6)-②), E-2-2)-②) 5) 血圧調節のメカニズムを説明する。(C-3-4)-(4)-③)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	三上 正人	体液性免疫の仕組みと抗体, 補体, 抗体の種類と多様性	1) 抗体の種類と特徴について説明する。(C-3-2)-2) 2) 補体成分とその活性化経路を説明する。(C-3-2)-1) 3) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 4) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p228-240 を読む。	
5月29日	三上 正人	細胞性免疫の仕組み, T細胞サブセット	1) 細胞性免疫の仕組みを説明する。(C-3-2)-2) 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 3) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1) 4) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明する。(C-3-2)-4
	準備学習	口腔微生物学 p241-253 を読む。	
6月5日	三上 正人	粘膜免疫の構成要素と特殊性	1) 粘膜免疫の特殊性について説明する。(C-3-2)-2, C-3-2)-⑦) 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 3) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1) 4) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明する。(C-3-2)-4
	準備学習	口腔微生物学 p254-257 を読む。	
6月12日	三上 正人	腫瘍に対する免疫応答と破綻, 免疫寛容の機序	1) 腫瘍免疫とそのエスケープ機構を説明する。 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 3) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1) 4) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明する。(C-3-2)-4
	準備学習	口腔微生物学 p252-253 を読む。	
6月19日	三上 正人	クームスの分類とアレルギーの成立機序, I型アレルギーの成立機序と病態生理 p275 ~ 278	1) アレルギーを成立機序により分類する。(C-3-2)-⑤) 2) 即時型アレルギーの発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥) 3) 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥
	準備学習	口腔微生物学 p261-263 を読む。	
6月26日	三上 正人	Ⅱ・Ⅲ型アレルギーの成立機序と病態生理	1) アレルギーを成立機序により分類する。(C-3-2)-⑤) 2) 即時型アレルギーの発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥) 3) 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥)
	準備学習	口腔微生物学 p263-264 を読む。	
7月3日	三上 正人	IV型アレルギーの成立機序と病態生理, 移植拒絶とGVHD	1) アレルギーを成立機序により分類する。(C-3-2)-⑤) 2) 遅延型アレルギーの発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥) 3) 移植拒絶反応を説明する。(C-3-2)-4) (C-3-2)-⑥)
	準備学習	口腔微生物学 p265-266 を読む。	
7月10日	三上 正人	自己免疫疾患の成立期序と病態生理, SLE, 慢性関節リウマチ, 強皮症, 多発性筋炎	1) 自己免疫疾患の発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥) 2) 免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥)
	準備学習	口腔微生物学 p267-271 を読む。	
7月18日	三上 正人	先天性免疫不全症候群, 食細胞系, Tリンパ球系, Bリンパ球系	1) 免疫不全の発症機序を説明する。(C-3-2)-⑥) 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 3) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1) 4) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明する。(C-3-2)-4)
	準備学習	口腔微生物学 p258-261 を読む。	
8月28日	三上 正人	授業項目1~14に関する質疑応答と問題演習	1) 免疫応答の成立について説明する。(C-3-2)-2) 2) 免疫担当細胞の種類と働きについて説明する。(C-3-2)-3) 3) リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。(C-2-3)-(11)-1) 4) 自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明する。(C-3-2)-4)
	準備学習	1~14回の講義内容を復習する。	

感染微生物学・生体防御学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
三上 正人	3	前期	火・木曜日	9:00～12:00	4号館2階組織・微生物学実習室

科目の到達目標 (GIO)

清潔・不潔の概念を理解しバイオハザードへの対処ができる歯科医師となるために、微生物の観察・培養・検体検査から、微生物の安全な取り扱い技術を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	葛城啓彰	感染微生物学・生体防御学実習書		日本歯科大学
参考書	石原和幸, 葛城啓彰他	口腔微生物学	7	学建書院

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (30%)
 実地試験 (40%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての実地試験 (25%) と多選択肢形式筆記試験 (25%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (25%) とレポート (25%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：木曜日 時間：12:00-13:00 場所：微生物学実習室 (4号館2階)
 ※事前にメールで要予約 (メールアドレスは授業中に提示する。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月25日	三上 正人 片桐 浩樹	ブドウ球菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p82-90 を読む。	
5月30日	三上 正人 片桐 浩樹	レンサ球菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p82-90 を読む。	
6月6日	三上 正人 片桐 浩樹	グラム陰性桿菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p107-123 を読む。	
6月8日	三上 正人 片桐 浩樹	グラム陽性桿菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p94-106 を読む。	
6月13日	三上 正人 片桐 浩樹	真菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
	準備学習	口腔微生物学 p189-197 を読む。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月15日	三上 正人 片桐 浩樹	齧蝕病原菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p294-302 を読む。
6月20日	三上 正人 片桐 浩樹	歯周病原菌の性状検査	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p304-31, 329-343 を読む。
6月22日	三上 正人 片桐 浩樹	唾液細菌の性状検査 菌数測定 ATP 測定	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p278-293 を読む。
6月27日	三上 正人 片桐 浩樹	唾液細菌の同定検査 分離培養	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p278-293 を読む。
6月29日	三上 正人 片桐 浩樹	唾液細菌の同定検査 カンジダの同定	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p278-293 を読む。
7月4日	三上 正人 片桐 浩樹	唾液細菌の同定検査 レンサ球菌の同定	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料を同定検査する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p278-293 を読む。
7月6日	三上 正人 片桐 浩樹	唾液細菌の薬剤感受性試験	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の薬剤感受性をディスク法で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p278-293 を読む。
7月11日	三上 正人 片桐 浩樹	免疫血清学的反応 CRP・TTPHA	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 試験管内抗原抗体反応を実施する。(C-3-1)-1)
		準備学習	口腔微生物学 p237-240 を読む。
7月13日	三上 正人 片桐 浩樹	実習試験	1) 無菌操作を行う。(C-3-1)-3) 2) 細菌・検査材料をグラム染色する。(C-3-1)-1) 3) 細菌・真菌の形態を顕微鏡で観察する。(C-3-1)-1) 4) 細菌・真菌を無菌的に培養する。(C-3-1)-1)
		準備学習	実習 1-13 回の復習をする。

口腔病理学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岡田 康男	3	前期	水曜日	10:40～12:00	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理について理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	梶木恵一, 岡田康男 編著	新スタンダード口腔病理学	第2版	学建書院
参考書	坂本穆彦 監修	標準病理学	第6版	医学書院
	高木 實 監修	口腔病理アトラス	第3版	文光堂

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00～18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院3階)
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月12日	岡田 康男	口腔粘膜疾患(1) (口腔粘膜疾患の分類, 発生, 病態・病理)	1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(4)-①, ②) 2) 色素沈着を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(4)-①, ②) 3) 口腔粘膜感染症の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-①, ④, ⑥, E-2-4)-(4)-①, ②) 4) 水疱, びらん, 潰瘍を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-①, ④, ⑥, ⑦, E-2-4)-(4)-①, ②, E-4-2)-(⑦)
	準備学習	教科書の2章A「口腔粘膜疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
4月19日	岡田 康男	口腔粘膜疾患(2) (口腔粘膜疾患の分類, 発生, 病態・病理)	1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。(E-2-4)-(4)-①, ②) 2) 水疱, びらん, 潰瘍を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(3)-①, ④, ⑥, ⑦, E-2-4)-(4)-①, ②, E-4-2)-(⑦) 3) 紅斑, 白斑を主徴とする疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(6)-⑤, ⑥) 4) 皮膚科的疾患による口腔侵襲について説明する。 (E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(10)-③, E-6-①, ②)
	準備学習	教科書の2章A「口腔粘膜疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
4月26日	岡田 康男	腫瘍と類似疾患(1) (総論としての口腔腫瘍の分類, 発生, 病態・病理)	1) 口腔・顎顔面領域腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①～③) 2) 口腔・顎顔面領域腫瘍類似疾患, エプーリスの分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-④) 3) 口腔潜在的悪性疾患の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-⑤, ⑥)
	準備学習	教科書の2章A「口腔粘膜疾患」, 4章D「軟組織の非歯原性腫瘍」および参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月10日	岡田 康男	腫瘍と類似疾患(2) (総論としての歯原性腫瘍と鑑別疾患の分類, 発生, 病態・病理)	1) 歯原性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 2) 歯原性腫瘍と鑑別を要する疾患の特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②, E-2-4)-(6)-④) 3) 悪性歯原性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-③)
	準備学習	教科書の4章A「歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	
5月17日	岡田 康男	腫瘍と類似疾患(3) (総論としての非歯原性腫瘍と類似疾患の分類, 発生, 病態・病理)	1) 非歯原性腫瘍の分類, 特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①) 2) 非歯原性良性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-①, ②) 3) 非歯原性悪性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-①, ③) 4) 非歯原性腫瘍類似疾患の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-④)
	準備学習	教科書の4章B「顎骨の非歯原性腫瘍」, D「軟組織の非歯原性腫瘍」および参考書で講義テーマについて学習する。	
5月24日	束理 頼亮	齶蝕症とその関連病変	1) 齶蝕の発生部位による分類について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①, ②) 2) 齶蝕の拡がりによる分類について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①) 3) 齶蝕の経過による分類について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①, ②) 4) 齶蝕の進行度, 臨床的検出基準による分類について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①, ②) 5) 齶蝕の病因と予防について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①, ②) 6) エナメル質齶蝕の病態・病理について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①) 7) 象牙質齶蝕の病態・病理について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①) 8) セメント質齶蝕の病態・病理について説明する。(E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-4-2)-①)
	準備学習	教科書の8章D「齶蝕」と参考書で講義テーマについて学習する。	
5月31日	束理 頼亮	齶蝕に継発する病変 (歯髄炎と根尖性歯周炎), 辺縁性歯周炎および顎炎の 病態・病理	1) 齶蝕症の継発症としての歯髄炎の病態・病理について説明する。(E-3-2)-②, E-3-3)-(2)-①) 2) 齶蝕症の継発症としての根尖性歯周炎の病態・病理について説明する。(E-3-2)-②, E-3-3)-(2)-①) 3) 辺縁性歯周炎の病態・病理について説明する。(E-3-2)-③, ④, E-3-3)-(3)-①) 4) 歯周治療後の組織治癒の病態・病理について説明する。(E-3-3)-(3)-⑤) 5) 智歯周囲炎, 歯槽骨炎, 顎骨炎, 顎骨骨膜炎, 顎骨骨髓炎, 歯性上顎洞炎について説明する。(E-2-4)-(3)-⑥)
	準備学習	教科書の8章E「歯髄・象牙質疾患, セメント質の病変」, F「根尖歯周組織の病変」, G「辺縁部歯周組織の病変」, 2章B「顎骨の炎症性疾患」, 9章「疾患の治癒に伴う病理学的変化」および参考書で講義テーマについて学習する。	
6月7日	大野 淳也	嚢胞形成性疾患 (顎骨内嚢胞と口腔顎顔面 軟組織嚢胞の分類, 発生, 病態・病理) (唾液腺停滞嚢胞を除く)	1) 顎骨に発生する歯原性嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②) 2) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②) 3) 軟組織に発生する嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②) 4) 口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②)
	準備学習	教科書の3章「口腔・顎顔面領域の嚢胞」, 8章F「根尖歯周組織の病変」および参考書で講義テーマについて学習する。	
6月21日	大野 淳也	唾液腺腫瘍 (総論としての唾液腺腫瘍 の分類, 発生, 病態・病理)	1) 唾液腺腫瘍の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(8)-④) 2) 唾液腺腫瘍の発生について説明する。(C-5-6)-②, ⑥) 3) 唾液腺良性腫瘍の病態・病理, 診断について説明する。(C-5-6)-⑤, E-2-4)-(8)-④) 4) 唾液腺悪性腫瘍の病態・病理, 診断について説明する。(C-5-6)-⑤, E-2-4)-(8)-④)
	準備学習	教科書の5章B「唾液腺の腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月28日	大野 淳也	唾液腺疾患との関連病変 (唾液腺の炎症, 唾石, 感染症, 嚢胞, 自己免疫疾患, IgG4 関連疾患, 加齢に伴う疾患の分類, 発生, 病態・病理)	1) 腫瘍を除く唾液腺疾患の分類, 病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(8)-①~③, ⑤~⑦) 2) 唾液腺炎の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(8)-①) 3) 唾石症の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(8)-②) 4) 唾液腺に生じる感染症の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-4)-(8)-⑥) 5) 唾液腺に生じる自己免疫疾患の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-4)-(8)-⑦) 6) 唾液腺の加齢に伴う疾患の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-3)-(4), E-5-1)-(3)
	準備学習	教科書の5章A「非腫瘍性疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
7月5日	束理 頼亮	歯・顎口腔の発育異常と加齢性変化, 歯の損傷・着色と関連病変	1) 口唇・口蓋・顎顔面の先天異常と後天異常の分類, 病因, 病態について説明する。(E-2-3)-③, ④, E-2-4)-(1)-①~④) 2) 口腔, 舌の先天異常と後天異常の分類, 病因, 病態について説明する。 (E-2-3)-③, ④, E-2-4)-(1)-①, ④) 3) 顎関節の先天異常と後天異常の分類, 病因, 病態について説明する。 (E-2-3)-④, E-2-4)-(7)-①, ②) 4) 唾液腺の先天異常と後天異常の分類, 病因, 病態について説明する。 (E-2-3)-④, E-2-4)-(8)-①) 5) 加齢に伴う口腔組織の構造と機能の変化について説明する。 (E-2-3)-②, ③, ④) 6) 歯の発育異常, 大きさ, 形, 数の異常とその関連病変の病態・病理について説明する。(E-2-3)-③, ④, E-2-4)-(10)-⑤, ⑥, E-3-1)-(3) 7) 歯の萌出, 位置, 歯列弓, 咬合の異常について説明する。 (E-2-3)-③, E-2-4)-(1)-①, ③, E-4-1)-(3), E-4-2)-(12) 8) 歯の構造異常, 機械的・化学的損傷, 着色, 変色について説明する。 (E-2-3)-④, E-3-2)-①, E-3-3)-(1)-①, E-3-3)-(2)-⑥) 9) 歯の損傷と喪失の修復過程の病態・病理について説明する。 (E-2-3)-④, E-2-4)-(2)-③, E-3-3)-(1)-①)
	準備学習	教科書の6章「口腔・顎顔面領域の先天異常」, 8章A「歯の発育異常」, 8章B「歯の機械的・化学的損傷」, 8章C「歯の付着物と着色」, 9章5「歯の破折の種類と治癒」および参考書で講義テーマについて学習する。	
7月12日	田沼 順一	特別講義 基礎からわかる病理学	1) 生命科学と歯科医療の関わりについて説明する。(C) 2) 歯科医療と歯科基礎医学の関わりについて説明する。(A-2) 3) 口腔・顎顔面領域の病理検査・診断に必要な事項について説明する。 (E-1-1)-①, ②, E-1-3)-①, ④, ⑤) 4) 口腔疾患の遺伝子解析方法, 遺伝子変異とオーダーメイド医療について説明する。(C-2-2)-④, ⑤, C-5-1)-①, ②, E-2-4)-(6)-③)
	準備学習	教科書の2章「口腔・顎顔面領域の炎症性疾患」, 3章「口腔・顎顔面領域の嚢胞」, 4章「口腔・顎顔面領域の腫瘍・腫瘍類似疾患」, 5章「唾液腺疾患」および参考書で講義テーマについて学習する。	
7月19日	束理 頼亮	抜歯創, 口腔顎顔面外傷の治癒過程と関連病変	1) 口腔粘膜部と顎骨部の創傷の治癒における細胞傷害と組織傷害について説明する。(C-5-2)-①) 2) 抜歯創の創傷治癒について説明する。(E-2-4)-(2)-①) 3) 顎顔面骨の骨折の創傷治癒について説明する。(E-2-4)-(2)-①)
	準備学習	教科書の9章「疾患の治癒に伴う病理学的変化」と参考書で講義テーマについて学習する。	
8月23日	束理 頼亮	全身疾患と関連する口腔病変 (代謝異常, ビタミン欠乏・過剰, 内分泌異常, 薬剤副作用や症候群の発生, 病態・病理)	1) 全身疾患に関連する口腔疾患の種類について説明する。 (E-2-4)-(10)-①~⑩) 2) 代謝異常による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-⑧) 3) ビタミン欠乏・過剰による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-⑨) 4) 内分泌異常による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-⑤, ⑥) 5) 薬剤の副作用による口腔疾患の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-⑦) 6) 口腔領域に徴候をみる症候群の病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(10)-⑤)
	準備学習	教科書の7章「口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
8 月 30 日	岡田 康男	口腔顎顔面疾患のまとめ	1) 口腔粘膜疾患の分類と病態・病理について説明する。(E-2-4)-(4)-①, ②) 2) 口腔・顎顔面領域腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①~③) 3) 口腔潜在的悪性疾患の分類, 特徴, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-⑤) 4) 歯源性腫瘍の分類, 特徴, 診断について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 5) 口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(5)-①, ②) 6) 唾液腺腫瘍の分類, 病態・病理, 診断について説明する。(E-2-4)-(8)-④) 7) 腫瘍を除く唾液腺疾患の分類, 病態・病理について説明する。 (E-2-4)-(8)-①~③, ⑤~⑦)
	準備学習	教科書と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
6月8日	仲村健二郎 二宮 一智 福井佳代子 原 基 桑島 治博	化学療法薬, 抗炎症薬	1) DVD 視聴により化学療法薬の分類, 薬理作用, 臨床応用を説明する。 (C-6-1)-1, C-6-2)-1, 2, 3, ⑤, C-6-4)-1) 2) DVD 視聴により抗炎症薬の分類, 薬理作用, 臨床応用を説明する。 (C-6-1)-1, C-6-2)-1, 2, 3, ⑤, C-6-4)-1)
		準備学習: 現代歯科薬理学第6版の第23章と第24章を参考に実習テーマについて学習する。	
6月13日		歯科用薬剤の皮膚・粘膜に対する作用	1) 歯科用薬物の皮膚, 腸粘膜に対する作用を比較観察し, 腐蝕, 収れん作用を説明する。(C-6-2)-2, C-6-4)-1) 2) 歯科用薬物の臨床上有益な作用と有害な作用を説明する。 (C-6-2)-2, C-6-4)-1)
		準備学習: 実習書 p52 を参考に実習テーマについて学習する。	
6月15日		二重盲検法	1) 二重盲検法の概要を説明する。(C-6-2)-2, 3) 2) カフェインの二重盲検法を実施する。(C-6-2)-2, 3) 3) クレベリン検査用紙を用いてコーヒーに含まれるカフェインの精神運動興奮作用を説明する。(C-6-2)-2)
	準備学習: 実習書 p18-22 を参考に実習テーマについて学習する。		
6月20日	実習後講義	1) 各実習項目で観察された結果を教科書の知識と関連させて説明する。 (C-6-1)-1, C-6-2)-1, 2, 3, ⑤, C-6-4)-1)	
	準備学習: 各実習前のスライドによる実習内容の説明および実際に実習から学んだことを確認する。		
6月22日	試験		

歯科理工学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
大熊 一夫	3	前期	月曜日	14:40 ~ 16:00	4月~アイヴィホール 8月~511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科材料を適切に選択し、取り扱うことのできる歯科医師となるために、歯科修復や治療に使用される材料について、種類、用途、成分、構造、性質、ならびに基本的使用方法を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	宮坂 平, 遠藤一彦, 玉置幸道, 服部雅之 編, 大熊一夫 他著	基礎歯科理工学	第1版	医歯薬出版
参考書	中畠 裕, 西山典宏, 宮崎 隆, 米山隆之, 宮川行男 他編	スタンダード歯科理工学	第7版	学建書院
	日本歯科理工学会 編	歯科理工学教育用語集	第3版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (45%) 論述試験 (45%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (45%), 論述試験 (45%) と, 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 歯科理工学教授室 (5号館3階)
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	大熊 一夫	歯冠修復用合金(1)	1) 歯冠修復用合金の所要性質を列記する。(D-1-②) 2) 金のカラット表示を説明する。 3) 金の特徴および金合金における各成分元素の役割について述べる。(D-1-②) 4) 鋳造用金合金の種類と用途, 基本組成, および性質について説明する。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p99-102 を参考に講義テーマについて学習する。	
4月17日	大熊 一夫	歯冠修復用合金(2)	1) 白金加金の特徴について述べる。(D-2-②) 2) 14カラット金合金の特徴について述べる。(D-2-②) 3) 銀の特徴および銀合金における各成分元素の役割について述べる。(D-1-②) 4) 鋳造用金銀パラジウム合金の用途, 基本組成, および性質について説明する。(D-2-②, ⑥)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p102-104 を参考に講義テーマについて学習する。	
4月24日	大熊 一夫	歯冠修復用合金(3)	1) 鋳造用低融銀合金の種類と用途, 基本組成, および性質について説明する。(D-2-②) 2) 銀に対する非貴金属元素添加の効果について述べる。(D-1-②) 3) チタンの特徴について述べる。(D-1-②) 4) チタンおよびチタン合金の種類と特徴について説明する。(D-2-⑤) 5) その他の歯冠修復用合金の種類と特徴について述べる。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p104-106 を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月8日	大熊 一夫	歯冠修復用陶材(1)	1) 歯科用陶材の種類について述べる。(D-1-②, E-3-4)-(1)-②) 2) 歯科用陶材の用途について述べる。(D-1-②) 3) 歯科用陶材の組成について述べる。(D-1-②) 4) CAD/CAM用セラミックスについて説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p106-109 を参考に講義テーマについて学習する。	
5月15日	大熊 一夫	歯冠修復用陶材(2)	1) 陶材の熱膨張係数について述べる。(D-1-②) 2) 陶材焼付合金と陶材の結合様式について述べる。(D-2-②) 3) 陶材焼付貴金属合金冠の陶材の築盛・焼成法について説明する。(D-2-②) 4) 陶材焼付卑金属合金冠の陶材の築盛・焼成法について説明する。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p109-115 を参考に講義テーマについて学習する。	
5月22日	大熊 一夫	歯冠修復用陶材(3)	1) 陶材焼付鋳造冠の構造について述べる。(D-2-②) 2) 陶材焼付合金の所要性質について説明する。(D-2-②) 3) 合金と陶材との結合様式を説明する。(D-2-②) 4) 陶材焼付合金の種類について説明する。(D-2-②) 5) 陶材焼付合金の性質について説明する。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p111-112, 接合技術 p229-232 を参考に講義テーマについて学習する。	
5月29日	大熊 一夫	歯冠修復関連材料	1) ポンティック材, 支台築造材, テンポラリークラウン, ブリッジ材について述べる。 (D-2-②) 2) 前ろうと後ろうについて説明する。(D-2-②) 3) テンポラリークラウン・ブリッジについて説明する。(D-2-②) 4) 適合検査材の使用目的, 主成分, および性質について述べる。 (D-2-②, E-3-4)-(1)-⑩)
	準備学習	基礎歯科理工学の金属の加工法 p192-194 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月5日	五十嵐健輔	CAD/CAM用材料	1) CAD/CAMについて説明する。(E-3-4)-(1)-②) 2) CAD/CAM用材料の種類について説明する。(D-2-②) 3) CAD/CAM用材料の特性について説明する。(D-2-②) 4) CAD/CAMを用いた修復物の作製法について述べる。(E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	基礎歯科理工学のセラミックスの成形法 p209, 歯科用CAD/CAMシステム p255-261 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月12日	五十嵐健輔	義歯床用レジン(1)	1) 加熱重合レジンの成分と重合方法を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 2) 床用材料としての加熱重合レジンの特性を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 3) 常温重合レジンの成分と重合方法を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 4) 床用材料としての常温重合レジンの特性を説明する。 (D-1-②, D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p144-147, レジンの加工法 p168-178 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月19日	五十嵐健輔	義歯床用レジン(2)	1) 射出成形レジンの成分と成形方法を説明する。(D-1-②, D-2-②) 2) 射出成形レジンの特性を説明する。(D-1-②, D-2-②) 3) アクリル系機能印象材の成分と操作方法, および特性を説明する。(D-2-②) 4) 義歯床用裏装材の用途と成分, および特性を説明する。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学のレジンの加工法 p178-180 を参考に講義テーマについて学習する。	
6月26日	大熊 一夫	義歯床用金属材料	1) 金属床とレジン床の特徴について両者を比較して述べる。(D-2-②) 2) 義歯床用金属材料の所要性質を説明する。(D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 3) 義歯床用貴金属材料の種類, 成分, 性質を説明する。 (D-2-②, E-3-4)-(2)-⑩) 4) 義歯床用卑金属材料の種類, 成分, 性質を説明する。 (D-2-②, ⑥, E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p147-148 を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7月3日	大熊 一夫	義歯維持装置用材料	1) クラasp用線材に望ましい応力-ひずみ曲線の特徴を説明する。(D-1-②, D-2-②) 2) 義歯維持装置用加工用材料の種類, 成分, 性質を説明する。(D-2-②, E-3-4)-(2)-⑪) 3) 磁性合金の種類, 成分, 特徴を説明する。(D-2-②) 4) 材料の疲労と疲労限度について述べる。(D-2-②)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p149 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月10日	大熊 一夫	インプラント・口腔外科用材料	1) インプラント用材料の所要性質を述べる。(D-1-②, E-3-4)-(3)-①) 2) インプラント用材料の種類と基本的性質を説明する。(D-1-②) 3) 歯根インプラント用材料の種類と性質を説明する。(D-1-②, E-3-4)-(3)-①) 4) 骨補填材・骨修復材の種類と特徴を説明する。(D-1-②) 5) 縫合糸用材料の種類と特徴を説明する。
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p151-159 を参考に講義テーマについて学習する。	
7月18日(火)	大熊 一夫	保存治療用材料	1) 根管充填材の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, E-3-3)-(2)-②) 2) 覆髄材の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, D-2-⑥, E-3-3)-(1)-⑤) 3) 裏層材の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, D-2-⑥, E-3-3)-(1)-⑤) 4) 歯周包帯材の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, D-2-⑥) 5) 仮封材の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, D-2-⑥, E-3-3)-(1)-⑦)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p132-144 を参考に講義テーマについて学習する。	
8月28日	大熊 一夫	矯正用材料	1) 矯正力付与の機構を説明する。(E-4-1)-(⑤) 2) 矯正用線材の種類, 成分, および性質を説明する。(D-2-④, E-4-1)-(⑤) 3) 超弾性線材の特性とその発現機構について説明する。(D-2-④, E-4-1)-(⑤) 4) その他の矯正用材料の種類, 成分, および基本的性質を説明する。(D-1-②, D-2-④, E-4-1)-(⑤)
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p161-166 を参考に講義テーマについて学習する。	

歯科放射線学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小椋 一郎	3	前期	水曜日	13:00～14:20	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査、診断および放射線治療を行うために必要な知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎 編	歯科放射線学	第6版	医歯薬出版
参考書				

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (50%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (50%) と論述形式筆記試験 (50%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：16:30～17:00 場所：歯科放射線学講座研究室 (新潟病院1階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月12日	小椋 一郎	がんの放射線治療	1) 放射線腫瘍学の基礎を説明する。(E-2-4)-(6)-3) 2) 放射線治療の意義と目的を説明する。(E-2-4)-(6)-3) 3) 放射線治療の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(6)-3) 4) 放射線治療患者の口腔管理を説明する。(E-2-4)-(6)-3)
	準備学習	教科書 第6章(1～4)の要点を確認する。	
4月19日	小椋 一郎	パノラマX線撮影	1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(6) 2) 検査法の適応を説明する。(E-1-2)-(6) 3) 画像の良否を判断し, 不良の原因と改善方法を説明する。(E-1-2)-(6)
	準備学習	教科書 第4章(2)の要点を確認する。	
4月26日	小椋 一郎	顔面頭蓋部撮影 断層撮影法 造影検査 interventional radiology	1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(8) 2) 検査法の種類と特徴を説明する。(E-1-2)-(8) 3) 検査法の適応を説明する。(E-1-2)-(8) 4) 造影検査法を列挙し, 特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-(9) 5) IVR の特徴と概要を説明する。(E-1-2)-(9)
	準備学習	教科書 第4章(3～5, 12)の要点を確認する。	
5月10日	織田 隆昭	口内法X線撮影 画像検査における 医療安全	1) 検査法の種類と特徴を説明する。(E-1-2)-(6) 2) 検査目的に適した撮影法を説明する。(E-1-2)-(6) 3) 画像の良否を判断し, 不良の原因と改善方法を説明する。(E-1-2)-(6) 4) 画像検査時の感染対策を説明する。(E-1-2)-(6)
	準備学習	教科書 第4章(1, 13)の要点を確認する。	
5月17日	織田 隆昭	放射線と歯科医療 放射線の物理	1) 放射線の定義と分類を説明する。(E-1-2)-1) 2) 電磁放射線と粒子放射線の発生と性質を説明する。(E-1-2)-1) 3) X線発生装置の構造と機能を説明する。(E-1-2)-(5)
	準備学習	教科書 第1章(1～3)・第2章(1)の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月24日	織田 隆昭	被写体コントラスト 写真処理	1) X線検出器 (フィルムや増感紙を含む) の構造と性質を説明する。(E-1-2)-⑤) 2) X線の画質に関わる因子 (空間分解能, 濃度分解能, 感度) を説明する。(E-1-2)-⑤) 3) 画像処理 (写真処理を含む) を説明する。(E-1-2)-⑤) 4) X線投影の原則を説明する。(E-1-2)-④) 5) X線の被写体コントラストと画像コントラストを説明する。(E-1-2)-④)
	準備学習	教科書 第3章(1~4)の要点を確認する。	
5月31日	織田 隆昭	デジタルラジオグラフィ 画像の評価 医療情報の統合	1) デジタルX線画像システムの種類と特徴を説明する。(E-1-2)-④, ⑤) 2) DICOM, PACS等の医療情報システムについて説明する。(E-1-2)-④, ⑤) 3) 遠隔画像診断 (Teleradiology) について説明する。(E-1-2)-④⑤)
	準備学習	教科書 第3章(5~7)の要点を確認する。	
6月7日	小椋 一郎	X線像の形成	1) 画像形成過程の概略を説明する。(E-1-2)-④)
	準備学習	教科書 第3章(1~7)の要点を確認する。	
6月21日	織田 隆昭	CT 歯科用コーンビームCT	1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-⑨)
	準備学習	教科書 第4章(6, 7)の要点を確認する。	
6月28日	小椋 一郎	超音波検査	1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-⑨)
	準備学習	教科書 第4章(10)の要点を確認する。	
7月5日	織田 隆昭	MRI	1) 検査法の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) 検査の適応を説明する。(E-1-2)-⑨)
	準備学習	教科書 第4章(8)の要点を確認する。	
7月12日	小椋 一郎	核医学検査	1) シンチグラフィを列挙し, 特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) シンチグラフィの適応を説明する。(E-1-2)-⑨) 3) SPECT (シングルフォトンエミッション断層撮影法), PET (ポジトロンエミッション断層撮影法) の特徴と原理の概要を説明する。(E-1-2)-⑨) 4) 放射性同位元素と放射能を説明する。(E-1-2)-1)
	準備学習	教科書 第4章(11)の要点を確認する。	
7月19日	織田 隆昭	放射線影響	1) 放射線の人体に対する影響の発現過程と分類を説明する。(E-1-2)-2)
	準備学習	教科書 第2章(3, 4)の要点を確認する。	
8月23日	小椋 一郎	放射線の量・単位 放射線防護	1) 照射線量, 吸収線量, 等価線量および実効線量を説明する。(E-1-2)-1) 2) 放射線測定機器とその測定原理を説明する。(E-1-2)-1) 3) 放射線防護の基本概念を説明する。(E-1-2)-3) 4) 放射線防護の方法を説明する。(E-1-2)-3)
	準備学習	教科書 第2章(2, 5)の要点を確認する。	
8月30日	小椋 一郎	顔面・頸部の正常解剖	1) CT, 歯科用コーンビームCT, MRIにおける主な解剖構造を説明する。(E-1-2)-⑨) 2) 歯・口腔顎顔面領域疾患に関連する全身の画像検査における解剖構造を概説する。(E-1-2)-⑦)
	準備学習	教科書 第4章(9)の要点を確認する。	

保存修復学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
新海 航一	3	前期	金曜日	13:00～14:20	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯の硬組織疾患を的確に修復治療し長期にわたって歯の審美的・機能性を維持させるために、硬組織疾患の病因・病態、診察・検査・診断法、治療法および予防法を学習し、歯の硬組織疾患の治療ならびに予防に必要な基本的知識を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	千田 彰 他	保存修復学	第7版	医歯薬出版
参考書	田上順次 他	保存修復学 21	第六版	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間帯: 16:00～17:00 場所: 歯科保存学第2講座研究室 (新潟病院7号館4階)
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月7日	新海 航一	保存修復学の概念と目的, 歯の構造と機能, 歯の加齢による変化	1) 保存修復学の概念と目的を説明する。 2) 歯の構造と機能を説明する。(E-3-1)-4 3) 歯の加齢による変化を説明する。(E-3-1)-4
	準備学習	教科書・第1章 p1-13の要点確認と課題のレポートを作成する。	
4月14日	新海 航一	齲蝕の病因と病態	1) 齲蝕の病因を説明する。(E-3-2)-1 2) 齲蝕の病態を説明する。(E-3-2)-1
	準備学習	教科書・第1章 p14-27の要点確認と課題のレポートを作成する。	
4月21日	新海 航一	非齲蝕性硬組織疾患と変色歯の病因と病態	1) 非齲蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-1 2) 変色歯の病因と病態を説明する。(E-3-2)-1
	準備学習	教科書・第1章 p27-36の要点確認と課題のレポートを作成する。	
4月28日	新海 航一	歯の検査法と診断ならびに治療計画の立案	1) 歯の硬組織疾患に対する診察, 検査および診断の方法を説明する。(E-3-3)-(1)-1, 2) 2) 診断に基づいた治療計画の立案方法を説明する。
	準備学習	教科書・第3章 p49-64の要点確認と課題のレポートを作成する。	
5月12日	鈴木 雅也	齲蝕の処置法	1) 齲蝕の処置法 (再石灰化療法を含む) を説明する。(E-3-3)-(1)-1)
	準備学習	教科書・第4章 p71-78の要点確認と課題のレポートを作成する。	
5月19日	鈴木 雅也	Tooth wear, 破折歯および形態異常歯の処置法	1) Tooth wear, 破折歯および形態異常歯の処置法を説明する。(E-3-3)-(1)-1)
	準備学習	教科書・第4章 p79-84, 90-97の要点確認と課題のレポートを作成する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月26日	鈴木 司郎 (特別講義)	象牙質知覚過敏症の病因、病態および処置法	1) 象牙質知覚過敏症の病因と病態を説明する。(E-3-2)-①) 2) 象牙質知覚過敏症の症状, 検査法, 診断および処置法を説明する。(E-3-3)-(1)-①)
	準備学習	教科書・第4章 p36, 37, 84, 85 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
6月2日	鈴木 雅也	硬組織の切削法	1) 回転切削器械を用いた歯の切削法を説明する。(D-1-4, E-3-3)-(1)-⑥) 2) 回転切削以外の器械を用いた歯の切削法を説明する。(D-1-4, E-3-3)-(1)-⑥)
	準備学習	教科書・第4章 p98-110 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
6月9日	鈴木 雅也	窩洞の分類, 構成および各部分の名称	1) 窩洞の分類を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥) 2) 窩洞の構成と各部分の名称を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥)
	準備学習	教科書・第4章 p110-114 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
6月16日	鈴木 雅也	窩洞に具備すべき諸条件	1) 窩洞に具備すべき諸条件を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥)
	準備学習	教科書・第4章 p114-122 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
6月23日	鈴木 雅也	象牙質・歯髄複合体の保護	1) 修復治療における歯髄傷害を説明する。(E-3-3)-(1)-5) 2) 修復治療における象牙質・歯髄複合体の保護法を説明する。(E-3-3)-(1)-5)
	準備学習	教科書・第4章 p122-128 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
6月30日	新海 航一	診療設備, 診療姿勢および感染予防対策 修復治療の前準備・補助法①	1) 歯科治療の診療設備と診療姿勢を説明する。(D-1-3) 2) 医療施設の感染予防対策を説明する。(A-6-3)-2, 3) 3) 修復時のイニシャルプレパレーションを説明する。(E-3-3)-(1)-4) 4) 修復時の防湿法を説明する。(E-3-3)-(1)-4)
	準備学習	教科書・第2章 p39-48 と第4章 p129-132 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
7月7日	新海 航一	修復治療の前準備・補助法② 修復物の具備すべき形状	1) 修復時の歯間分離法を説明する。(E-3-3)-(1)-4) 2) 修復時の歯肉排除法を説明する。(E-3-3)-(1)-4) 3) 修復時の隔壁法を説明する。(E-3-3)-(1)-4) 4) 修復物の具備すべき形状を説明する。
	準備学習	教科書・第4章 p133-140 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
7月14日	新海 航一	コンポジットレジン修復① (コンポジットレジンの組成と種類)	1) コンポジットレジンの組成を説明する。(D-2-1) 2) コンポジットレジンの種類(分類)を説明する。(D-2-1)
	準備学習	教科書・第5章 p147-154 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
8月25日	新海 航一	コンポジットレジン修復② (コンポジットレジンの歯質への接着)	1) コンポジットレジン修復の歯面処理を説明する。(D-2-⑦, E-3-3)-(1)-③) 2) 歯質接着システムを説明する。(D-2-③)
	準備学習	教科書・第5章 p141-145 の要点確認と課題のレポートを作成する。	

歯内療法学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
北島 佳代子	3	前期	月曜日	9:00 ~ 10:20	4月~アイヴィホール 8月~511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯を長期間保存し機能を営ませることにより、全身の健康の維持と増進を図るために、歯の硬組織、歯髄、根尖歯周組織に生じる疾患について理解し、歯髄疾患や根尖歯周組織疾患に罹患した歯を健康状態に回復させるのに必要な歯内療法の知識を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	勝海一郎 他編	歯内治療学	5	医歯薬出版
参考書	興地隆史 他編集主幹	エンドドンティクス	5	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%), 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間: 18:00 ~ 19:00 場所: 歯科保存学第1講座研究室 (新潟病院 4階)

※事前にメールで予約すること。

質問用 E-mail アドレス: ga-hozon1(at)ngt.ndu.ac.jp でも対応可能。(件名に学生No.氏名, 授業担当者名を入れること。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	北島佳代子	歯内療法学の目的, 意義 歯・歯周組織の構造と機能 I 歯の硬組織の構造と発生 II 歯髄の構造と機能 III 歯周組織の構造と機能 IV 歯根と歯髄腔の形態と変化	1) 歯の硬組織の構造と機能を説明する。(E-3-1)-4) 2) 歯の発生過程を説明する。(E-3-1)-1) 3) 歯髄の構造と機能を説明する。(E-3-1)-5, E-3-2)-5) 4) 歯周組織の発生と構造, 機能を説明する。(E-3-1)-6) 5) 歯根と歯髄腔の形態と変化を説明する。(E-3-1)-1, 2)
	準備学習	教科書第1章, 第2章の要点を確認する。	
4月17日	北島佳代子	歯の硬組織疾患 I 歯と歯髄腔の形態異常 II 歯の形成不全 III 歯の損耗 IV 齲蝕症 V 外傷 VI 象牙質知覚過敏症	1) 歯と歯髄腔の形態異常を説明する。(E-3-1)-2, 3) 2) 歯の形成不全を説明する。 (E-3-1)-1, 2, E-3-2)-1, E-3-3-(1)1) 3) 歯の損耗を説明する。(E-3-2)-1, E-3-3-(1)-1) 4) 齲蝕症を説明する。(E-3-3-(1)-1, 2) 5) 外傷を説明する。(E-3-2)-1) 6) 象牙質知覚過敏症を説明する。 (E-3-2)-1, E-3-3-(1)-1, 2)
	準備学習	教科書第3章の要点を確認する。	
4月24日	新井 恭子	歯内治療における基本術式の概要(1) I 診査・検査 医療面接, 視診, 触診, 打診, 歯の動揺度と歯周ポケット検査, 温度診, 歯髄電気診	1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診査・検査を説明する。 (E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第4章 I (1~7) の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月8日	新井 恭子	歯内治療における基本術式の概要 (2) I 診査・検査 透照診, エックス線検査, 麻酔診, 切削診, 楔応力検査 (咬合診査), 嗅診, 歯髄疾患に特有な検査, 根尖性歯周疾患に特有な検査	1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診査・検査を説明する。 (E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第4章I (8~15)の要点を確認する。	
5月15日	佐藤 友則	歯内治療における基本術式の概要 (3) II 無菌的処置法 III 麻酔法 (除痛法)	1) 歯内療法時の無菌的処置法を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 器具の滅菌, 消毒法を説明する。(E-3-3-(2)-1) 3) 麻酔法 (除痛法)を説明する。(E-1-4)-(3)-5)
	準備学習	教科書第4章II, IIIの要点を確認する。	
5月22日	北島佳代子	歯髄疾患(1) I 歯髄疾患の概要 II 歯髄疾患の原因	1) 歯髄疾患の概要を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 歯髄疾患の原因を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第5章I, IIの要点を確認する。	
5月29日	北島佳代子	歯髄疾患(2) III 歯髄疾患の分類と臨床症状 IV 歯髄疾患の特徴と経過	1) 歯髄疾患の分類を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 歯髄疾患の臨床症状を説明する。(E-3-3-(2)-1) 3) 歯髄疾患の特徴を説明する。(E-3-3-(2), 1, 3) 4) 歯髄疾患の経過を説明する。(E-3-3-(2), 1, 3, 4)
	準備学習	教科書第5章III, IVの要点を確認する。	
6月5日	北島佳代子	歯髄疾患(3) V 歯髄疾患の診断	1) 歯髄疾患の診断を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第5章Vの要点を確認する。	
6月12日	北島佳代子	歯髄疾患(4) VI 歯髄疾患の治療方針 VII 歯髄疾患の治療法	1) 歯髄疾患の治療方針を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 歯髄疾患の治療法を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第5章VI, VIIの要点を確認する。	
6月19日	新井 恭子	根尖性歯周疾患(1) I 根尖性歯周疾患の概要 II 根尖性歯周疾患の原因	1) 根尖性歯周疾患の概要を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 根尖性歯周疾患の原因を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第6章I, IIの要点を確認する。	
6月26日	新井 恭子	根尖性歯周疾患(2) III 根尖性歯周疾患の分類と臨床症状 IV 根尖性歯周疾患の特徴と経過	1) 根尖性歯周疾患の分類を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 根尖性歯周疾患の臨床症状を説明する。(E-3-3-(2)-1) 3) 根尖性歯周疾患の特徴を説明する。(E-3-3-(2)-1, 3) 4) 根尖性歯周疾患の経過を説明する。(E-3-3-(2)-1, 3, 4)
	準備学習	教科書第6章III, IVの要点を確認する。	
7月3日	新井 恭子	根尖性歯周疾患(3) V 尖性歯周疾患の診査・診断	1) 根尖性歯周疾患の診査・診断を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第6章Vの要点を確認する。	
7月10日	新井 恭子	根尖性歯周疾患(4) VI 根尖性歯周疾患の治療方針	1) 根尖性歯周疾患の治療方針を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第6章VIの要点を確認する。	
7月18日	佐藤 友則	根管処置(1) I 髄室開拓 II 根管長測定と作業長の決定	1) 髄室開拓を説明する。(E-3-3-(2)-1) 2) 根管長測定と作業長の決定を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第7章I, IIの要点を確認する。	
8月28日	佐藤 友則	根管処置(2) III 根管形成	1) 根管形成を説明する。(E-3-3-(2)-1)
	準備学習	教科書第7章IIIの要点を確認する。	

歯周疾患治療学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	3	前期	月曜日	13:00～14:20	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯周病学を理解するために、歯周組織についての知識を深め、さらに歯肉炎および歯周炎の病因、病態、検査法、診断、治療法について臨床で必要とされる基礎知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	村上伸也ら編	臨床歯周病学	第3版	医歯薬出版
	特定非営利活動法人 日本歯周病学会編	歯周病学用語集	第3版	医歯薬出版
参考書	沼部幸博ら編集主幹	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) の筆記試験と課題提出を含む授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

月曜日・17:00～18:00・新潟病院4階 歯周病学講座研究室
 ※事前にメール [ga-shishu(at)ngt.ndu.ac.jp] で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月10日	佐藤 聡	歯周組織の構造と病理変化	1) 歯周組織の構造を説明する。(E-3-1)-⑥) 2) 歯周組織の機能を説明する。(E-3-1)-⑥) 3) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-⑥)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 1章の要点を確認する。	
4月17日	両角 祐子	歯周病の原因と症状	1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-③) 3) 歯周病活動性を説明する。(E-3-2)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 2章の要点を確認する。	
4月24日	佐藤 聡	歯周病のリスクファクター	1) 歯周病のリスクファクターを説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病原細菌を説明する。(E-3-2)-③, ④) 3) 歯周病の宿主因子を説明する。(E-3-2)-③, ④) 4) 歯周病の環境因子を説明する。(E-3-2)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 3章の要点を確認する。	
5月8日	丸山 昂介	デンタルプラーク 炎症反応・免疫反応	1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-③) 2) デンタルプラークを説明する。(E-3-2)-④) 3) 歯周病原細菌を説明する。(E-3-2)-③, ④) 4) 歯石を説明する。(E-3-2)-④) 5) 歯周病の免疫応答を説明する。(E-3-2)-③) 6) 歯周病の発症と進行に関与するサイトカインを説明する。(E-3-2)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 4, 5章の要点を確認する。	
5月15日	沼部 幸博 (交換講義)	歯周病における免疫応答と 組織変化	1) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-③) 2) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-③) 3) 歯周病の免疫応答を説明する。(E-3-2)-③) 4) 歯周病の組織変化を説明する。(E-3-2)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 4, 5章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月22日	両角 祐子	ペリオドンタルメディシン 遺伝的素因	1) ペリオドンタルメディシンを説明する。(E-3-3)-(3)-①) 2) 歯周病と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 歯周病の遺伝因子を説明する。(E-3-3)-(3)-①)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 6, 7章の要点を確認する。	
5月29日	丸山 昂介	歯周病の分類 咬合性外傷	1) 歯周病の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 咬合性外傷の原因を説明する。(E-3-2)-(3) 3) 咬合性外傷の診断の留意点を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 4) 咬合性外傷の症状を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 5) 咬合性外傷の徴候を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 8, 9章の要点を確認する。	
6月5日	両角 祐子	歯周病の疫学 歯周病の検査(1)	1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 歯周病の疫学的評価に用いる指数を説明する。(E-3-3)-(3)-②)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 10, 11章の要点を確認する。	
6月12日	西村 英紀	歯周病と糖尿病	1) 歯周病の病態を説明する。(E-3-2)-(3) 2) ペリオドンタルメディシンを説明する。(E-3-3)-(3)-①) 3) 歯周病と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-①)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 6章の要点を確認する。	
6月19日	両角 祐子	歯周病の検査(2) 歯周病の診断と治療計画 先進的な歯周病の検査	1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 12, 13章の要点を確認する。	
6月26日	両角 祐子	歯周病の診断と治療計画 先進的な歯周病の検査	1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 12, 13章の要点を確認する。	
7月3日	丸山 昂介	歯周基本治療(1) 歯周基本治療の概要 応急処置・疼痛への対応	1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②) 2) 歯周基本治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 3) 歯周基本治療の項目を列挙する。(E-3-3)-(3)-③) 4) 歯周病の急性症状の診断と処置方法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 15章の要点を確認する。	
7月10日	佐藤 聡	歯周基本治療(2) プラークコントロール	1) 口腔内清掃法の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) 口腔内清掃法を列挙する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 機械的プラークコントロールを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 4) 化学的プラークコントロールを説明する。(E-3-3)-(3)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 16章の要点を確認する。	
7月18日	高塩 智子	歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング	1) スケーリング・ルートプレーニングを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) スケーラーの構造を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) スケーラーを説明する。(E-3-3)-(3)-③) 4) スケーラーの使用法を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 5) シャープニングを説明する。(E-3-3)-(3)-③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 17章の要点を確認する。	
8月28日	佐藤 聡	歯周基本治療(4) その他の歯周基本治療	1) 暫間固定を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 2) 歯周治療における咬合調整を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 口臭の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 口臭の検査法および治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 5) 口呼吸を説明する。(E-3-3)-(3)-①, ②)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 18章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月24日	佐藤 利英	後頭部・側頸部筋群と表情筋	1) 後頭部の筋を列挙する。(E-2-1)-③) 2) 側頸部の筋を列挙する。(E-2-1)-③) 3) 表情筋を列挙する。(E-2-1)-③) 4) 各筋組織の機能を説明する。(E-2-1)-③)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章 PART5, 6, 7を読み, 要点を確認する。	
5月31日	水橋 史	顎関節と下顎運動(2)	1) 顎関節の構成要素を説明する。(E-2-1)-⑥) 2) 顎関節の機能を説明する。(E-2-1)-⑥) 3) 顎関節の形態について説明する。(E-2-1)-⑥) 4) 筋と靭帯の関わりについて説明する。(E-2-1)-⑥)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章 PART8を読み, 要点を確認する。	
6月7日	水橋 史	靭帯と下顎運動	1) 下顎に付着する靭帯を列挙する。(E-2-1)-⑥) 2) 各種靭帯の機能を説明する。(E-2-1)-⑥) 3) 下顎運動と靭帯機能について説明する。(E-2-1)-⑦) 4) 下顎運動の制御について説明する。(E-2-1)-⑦)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章 PART9を読み, 要点を確認する。	
6月21日	水橋 史	Posselt's Figure	1) Posselt's Figure を説明する。(E-2-1)-⑦) 2) Posselt's Figure の各運動の意味を説明する。(E-2-1)-⑦) 3) 各運動要素と解剖構造の関係を説明する。(E-2-1)-⑥) 4) Posselt's Figure と靭帯の役割について説明する。(E-2-1)-⑦)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章 PART9を読み, 要点を確認する。	
6月28日	佐藤 利英	摂食嚥下機能	1) 摂食嚥下とは何かを説明する。(E-2-1)-⑨) 2) 摂食嚥下と関連組織について説明する。(E-2-1)-⑨) 3) 摂食嚥下障害を説明する。(E-2-4)-(11)-②) 4) 摂食嚥下の各段階を説明する。(E-2-1)-⑨)
	準備学習	基礎歯科生理学 p355-369を読み, 要点を確認する。	
7月5日	佐藤 利英	高齢者の摂食嚥下機能	1) 摂食嚥下とは何かを説明する。(E-2-1)-⑨) 2) 摂食嚥下と関連組織について説明する。(E-2-1)-⑨) 3) 摂食嚥下障害を説明する。(E-2-4)-(11)-②) 4) 摂食嚥下の各段階を説明する。(E-2-1)-⑨)
	準備学習	基礎歯科生理学 p355-369を読み, 要点を確認する。	
7月12日	水橋 史	味覚の機能	1) 味覚評価法を列挙する。(E-1-3)-②) 2) 味覚と唾液の関係について説明する。(E-2-2)-⑤) 3) 味覚検査結果と疾患の関係について説明する。(E-1-3)-⑤) 4) 味覚障害について説明する。(E-2-4)-(11)-④)
	準備学習	基礎歯科生理学 第16章を読み, 要点を確認する。	
7月19日	佐藤 利英	咬合と下顎運動(1)	1) 顎口腔系について説明する。(E-2-2)-④) 2) 下顎運動の範囲を説明する。(E-2-1)-⑦) 3) 下顎運動範囲と下顎位を説明する。(E-2-1)-⑦) 4) 下顎運動の検査法を列挙する。(E-1-3)-②)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章 PART9を読み, 要点を確認する。	
8月23日	水橋 史	咬合と下顎運動(2)	1) 顎関節症の診断基準を説明する。(E-2-4)-(7)-②) 2) 顎関節症の下顎運動の特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-②) 3) 顎関節症の症型分類を説明する。(E-2-4)-(7)-②) 4) 顎関節症の治療法を列挙する。(E-2-4)-(7)-②)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第2章を読み, 要点を確認する。	
8月30日	水橋 史	総括	1) 顎口腔機能の診査・診断について説明する。(E-1-1)-①) 2) 下顎運動と顎機能の関係について説明する。(E-2-1)-⑦) 3) 顎機能検査法について列挙する。(E-1-3)-②)
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第2章を読み, 要点を確認する。	

歯科矯正学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小林 さくら子	3	前期	金曜日	9:00～10:20	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

国民の健康に寄与し患者のQOLの向上に資する歯科医師となるために、矯正歯科治療の必要性および基本的な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	飯田順一郎 他 著	歯科矯正学	6版	医歯薬出版
参考書				

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (20%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択肢形式問題 (80%) と論述試験 (20%) で評価する。遅刻, 欠席を含む態度は減点式とする。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

金曜日・17:00～18:00・7号館4階歯科矯正学講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月7日	小林さくら子	矯正歯科治療の目的と意義	1) 歯科矯正学の定義を述べる。(E-4-1)-① 2) 矯正歯科治療の目的と意義を説明する。(E-4-1)-① 3) 不正咬合によって生じる障害を列記する。(E-4-1)-③
	準備学習	教科書 p8-13 を読み, 要点を確認する。	
4月14日	寺田 員人	成長発育概論 頭蓋および顎顔面骨の発生および成長(1) 頭部の発生	1) 身体の成長発育について説明する。(C-3-2)-③ 2) 頭部の発生を説明する。(E-2-3)-② 3) 口唇裂, 口蓋裂, 顔面裂について述べる。(E-2-3)-③
	準備学習	教科書 p14-28 を読み, 要点を確認する。	
4月21日	寺田 員人	頭蓋および顎顔面骨の発生および成長(2) 頭蓋骨の発生・頭蓋骨の成長発育 脳頭蓋の成長発育	1) 頭蓋冠の成長発育を説明する。(C-3-2)-③ 2) 頭蓋底の成長発育を説明する。(E-2-3)-③ 3) 顔面頭蓋の成長発育を説明する。(E-2-3)-②
	準備学習	教科書 p28-38 を読み, 要点を確認する。	
4月28日	寺田 員人	頭蓋および顎顔面骨の発生および成長(3) 顔面頭蓋の成長発育	1) 鼻上顎複合体の成長発育・成長機構を説明する。(E-2-3)-② 2) 下顎骨の成長発育・成長機構を説明する。(E-2-3)-②
	準備学習	教科書 p38-42 を読み, 要点を確認する。	
5月12日	寺田 員人	咬合概論 正常咬合 正常咬合の概念 正常咬合の成立とその保持条件	1) 下顎位・咬合位・顎運動を説明する。(E-4-1)-④ 2) 正常咬合の概念を説明する。(E-4-1)-② 3) 正常咬合の成立とその保持条件を列記する。(E-4-1)-②
	準備学習	教科書 p66-85 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
5月19日	太田 信	不正咬合 不正咬合の疫学・不正咬合の種類 不正咬合の分類	1) 不正咬合のとらえ方を述べる。(E-2-2)-③) 2) 不正咬合の定義を説明する。(E-4-1)-③) 3) 不正咬合を分類する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p85-99 を読み、要点を確認する。	
5月26日	太田 信	不正咬合の原因と予防(1) 不正咬合の原因のとらえ方・先天的原因	1) 不正咬合の原因と考えられる要素を説明する。(E-4-1)-③) 2) 不正咬合の先天的原因を列記する。(E-4-1)-③) 3) 不正咬合の原因, 種類, 診査, 診断, 治療および予防法を述べる。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p100-109 を読み、要点を確認する。	
6月2日	太田 信	不正咬合の原因と予防(2) 後天的原因	1) 不正咬合の後天的原因を説明する。(E-4-1)-③) 2) 不正咬合の原因, 種類, 診査, 診断, 治療および予防法を列記する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p109-115 を読み、要点を確認する。	
6月9日	亀田 剛	矯正歯科治療に伴う生体反応	1) 矯正歯科治療に対する生体反応を全身的・局所的に区分して説明する。(E-4-1)-⑧) 2) 矯正力に対する歯・歯周組織・顎骨の反応を説明する。(E-4-1)-⑧) 3) 矯正歯科治療により起こりうる医原性障害を列記する。(E-4-1)-⑨) 4) 適正な矯正力に対する生体反応とその評価基準を説明する。(E-4-1)-⑧)
	準備学習	教科書 p122-134 を読み、要点を確認する。	
6月16日	寺田 員人	診断 診断の基礎・医療面接と診察	1) 矯正歯科治療の目標と流れを述べる。(E-4-1)-①) 2) 矯正歯科治療のための問題志向型診療システムを説明する。(E-4-1)-③) 3) 矯正歯科治療におけるインフォームドコンセントを説明する。(E-4-1)-③) 4) 矯正歯科治療のための医療面接, 診察を説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p135-144 を読み、要点を確認する。	
6月23日	後藤 翔	検査(1) 形態的検査1 全身的検査・顔面写真・口腔内写真 口腔模型・画像検査 機能検査	1) 矯正歯科治療における全身的検査を列記する。(E-4-1)-③) 2) 矯正歯科治療における顔面・口腔内写真の検査・分析を説明する。(E-4-1)-③) 3) 矯正歯科治療における口腔模型の検査・分析を説明する。(E-4-1)-③) 4) 矯正歯科治療における画像検査を説明する。(E-4-1)-③) 5) 矯正歯科治療のための機能検査を説明する。(E-4-1)-③) 6) 機能的下顎近心咬合, 機能的下顎遠心咬合を述べる。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p145-157, 169-174 を読み、要点を確認する。	
6月30日	後藤 翔	検査(2) 形態的検査2 頭部エックス線規格写真分析	1) セファログラムの撮影規格・種類・撮影目的を記述する。(E-4-1)-③) 2) セファロ分析の計測点と計測平面の定義を説明する。(E-4-1)-③) 3) Downs 法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-③) 4) ノースウエスタン法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p157-169 を読み、要点を確認する。	
7月7日	後藤 翔	検査(3) 形態的検査3 頭部エックス線規格写真分析	1) Tweed 法の計測項目とその臨床的意義を述べる。(E-4-1)-③) 2) ポリゴン図表の臨床的意義を説明する。(E-4-1)-③) 3) 軟組織検査を列挙する。(E-4-1)-③) 4) セファロの重ね合わせを説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p157-169 を読み、要点を確認する。	
7月14日	寺田 員人	矯正歯科治療における抜歯	1) 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を述べる。(E-4-1)-③) 2) Tweed の抜歯基準を説明する。(E-4-1)-③) 3) 連続抜去法の意義と目的を説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p175-182 を読み、要点を確認する。	
8月25日	寺田 員人	治療目標・治療方針・治療計画の立案	1) 不正咬合を診断する。(E-4-1)-③) 2) 治療方針の立案に必要な事項を説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p183-190 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月28日	五十嵐隆一	嚢胞性疾患(1) (顎骨とその周囲に発生する嚢胞(歯原性嚢胞, 非歯原性嚢胞, 嚢胞類似疾患))	1) 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(5)-①) 2) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 顎骨に発生する嚢胞の一般的な症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-②)
	準備学習	教科書 p280-291 を読み, 要点を確認する。	
5月12日	赤柴 竜	嚢胞性疾患(2) (軟組織に発生する嚢胞)	1) 嚢胞の定義と一般的な特徴を説明する。 2) 口腔・顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(5)-①) 3) 口腔・顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞の一般的な症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-②)
	準備学習	教科書 p272-274, 274-280 を読み, 要点を確認する。	
5月19日	戸谷 収二	口腔粘膜疾患	1) 口腔粘膜疾患の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(4)-①) 2) 水疱, 紅斑, びらん, 潰瘍, 白斑, 色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説する。(E-2-4)-(4)-②)
	準備学習	教科書 p214-253 を読み, 要点を確認する。	
5月26日	水谷 太尊	腫瘍性疾患(1) (歯原性腫瘍)	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状, 診断法(組織診, 画像診断) および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-②) 2) 歯原性腫瘍の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(6)-①②)
	準備学習	教科書 p292-312, 313-327 を読み, 要点を確認する。	
6月2日	小根山隆浩	腫瘍性疾患(2) (非歯原性腫瘍, 腫瘍類似疾患, エプーリス)	1) 非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を概説する。(E-2-4)-(6)-①②) 2) 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙する。(E-2-4)-(6)-④) 3) エプーリスの特徴, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-④)
	準備学習	教科書 p327-341, 367-371 を読み, 要点を確認する。	
6月9日	赤柴 竜	腫瘍性疾患(3) (前癌病変, 悪性腫瘍)	1) 前癌病変(白板症, 紅板症)の特徴, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(6)-⑤) 2) 前癌状態の種類と特徴を列挙する。(E-2-4)-(6)-⑥) 3) 口腔癌の特徴, 予防, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-③) 4) 口腔領域の悪性腫瘍の種類, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(5)-③)
	準備学習	教科書 p302-312, 341-367 を読み, 要点を確認する。	
6月16日	中谷 佑哉	顎関節疾患総論	1) 顎関節疾患の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-①) 3) 顎関節疾患(外傷, 脱臼, 炎症, 顎関節症, 顎関節強直症)の症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(7)-②)
	準備学習	教科書 p388-392, 392-411 を読み, 要点を確認する。	
6月23日	赤柴 竜	唾液腺疾患 (唾石症, 唾液腺炎, 腫瘍)	1) 唾石症の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-②) 2) 唾液腺炎の種類と特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-③) 3) 唾液腺腫瘍の種類と特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-④) 4) 流行性耳下腺炎の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-⑥) 5) Sjögren 症候群の特徴, 症状, 診断法および治療法を概説する。(E-2-4)-(8)-⑦)
	準備学習	教科書 p372-387 を読み, 要点を確認する。	
6月30日	五十嵐隆一	神経性疾患 (三叉神経痛, 顔面神経麻痺, 三叉神経麻痺)	1) 口腔・顔面痛について概説する。(E-2-4)-(9)-①) 2) 三叉神経痛の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-②) 3) 顔面神経麻痺の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-③) 4) 三叉神経麻痺(感覚麻痺, 運動麻痺)の原因, 症状および治療法を概説する。(E-2-4)-(9)-④)
	準備学習	教科書 p412-430 を読み, 要点を確認する。	
7月7日	戸谷 収二	血液疾患総論	1) 口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血, 出血性素因, 白血病)の症状とスクリーニング検査法を概説する。(E-2-4)-(10)-①)
	準備学習	教科書 p48-51, 254-271 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
7 月 14 日	五十嵐隆一	口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患(1) (症候群, 系統的骨疾患)	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙する。 (E-2-4)-(10)-⑤) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状, 診断, 治療を列挙する。(E-2-4)-(10)-⑥)
	準備学習	教科書 p452-464 を読み, 要点を確認する。	
8 月 25 日	小根山隆浩	口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患(2) (アレルギー, 膠原病, 免疫不全, 薬物副作用, 代謝障害, ビタミン欠乏)	1) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患, 膠原病, 免疫異常の症状を列挙する。(E-2-4)-(10)-③) 2) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙する。 (E-2-4)-(10)-⑦) 3) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙する。 (E-2-4)-(10)-⑧) 4) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現すビタミン欠乏症とその症状を列挙する。 (E-2-4)-(10)-⑨)
	準備学習	教科書 p178-186, 212, 468-468 を読み, 要点を確認する。	

総合基礎医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	3	前期	金曜日	14:40～16:00 16:20～17:40	4月～アイヴィホール 8月～511番教室

科目の到達目標 (GIO)

基礎系科目と臨床系科目の関連性を意識し、1年次～3年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。

著者・编者	書名	版	出版社
教科書	各分野で指定された教科書		
参考書			

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

年度末に第3学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、67点以上で単位を認定する。(当該科目は、後期日程にも記載してある。)

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月7日	鳥海 拓	頭頸部・歯の解剖	1) 頭頸部を構成する骨・筋・脈管・神経に関する基礎的知識を説明する。(E-2-1)-②, ③, ④, ⑤) 2) 歯の解剖学に関する基礎的知識を説明する。(E-3-1)-②, ③) 3) 初期発生および頭頸部の発生に関する基礎的知識を説明する。(C-3-2)-①, (E-2-3)-①)
	準備学習	「口腔解剖学」第10章, 11, 13章, 14章, 「歯の解剖学」IV, VIIを読み, 要点を確認する。	
4月7日 5限	鴨田 剛司	地域保健活動	1) 母子保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 2) 学校保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 3) 産業保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①) 4) 成人・高齢者に対する保健活動の概要を説明する。(B-2-2)-①)
	準備学習	「口腔衛生学 2020」を参考に講義テーマについて学習する。	
4月14日	森田 貴雄	生化	1, 2年次で学習した生物学, 生化学, 口腔生化学の重要な項目を復習し, 知識を定着させる。
	準備学習	事前に配布する講義資料をダウンロードし, 要点を確認しておく。	
4月14日 5限	予備日		
4月21日	佐藤 義英	生理学に関する問題演習	1) 人体諸器官の生理的機能とその機序を説明する。(C-3-4) 2) 頭頸部の基本的な機能を説明する。(E-2-1) 3) 口腔及び隣接領域の基本的な機能を説明する。(E-2-2)
	準備学習	該当の授業内容に関して, 教科書で確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
4月28日	岡田 康男	病理 2年生後期「病理学」と3年生前期の「口腔病理学」の内容を関連付けた臨床病理	1) 口腔・顎顔面領域の疾患について説明する。(E-2-4)-(1)~(8)) 2) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患について説明する。(E-2-4)-(10)-(1)~(10)) 3) 医師と連携するために必要な医学的知識について説明する。(E-6-(1)~(3))
	準備学習	教科書の標準病理学, スタンダード口腔病理学の必要箇所を学習する。	
5月12日	三上 正人	微生物	1) 感染性微生物の種類を説明する。(C-4-1)-(2)) 2) 感染症の原因微生物を説明する。(C-4-1)-(2)) 3) 感染症の感染機構を説明する。(C-4-1)-(2))
	準備学習	2年時の学習範囲をシンプル微生物学と学習ノートで復習する。	
5月19日	仲村健二郎	薬理	2年生で学習した薬理学の重要な項目を復習し, 知識を定着させる。また, 歯科臨床とのかかわりで重要な薬物を説明する。
	準備学習	2年生で学んだ薬理学総論と各論で良く理解できなかった項目が無かったか大まかに把握して置く。	
5月26日	辻村麻衣子	組織学 (歯周組織の構造)	1) セメント質の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)) 2) 歯根膜の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)) 3) 歯肉の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)) 4) 歯槽骨の組織構造を説明する。(E-3-1)-(6)) 5) 歯と歯周組織の発生の概要を説明する。(E-3-1)-(1)(6))
	準備学習	歯周組織に関して, 口腔組織学の教科書「口腔の発生と組織」を確認する。	
6月2日	大熊 一夫	理工 インプラント・口腔外科用材料	1) チタンおよびチタン合金の基本的性質を説明する。(D-1)-(2)) 2) インプラント用材料としてのチタンおよびチタン合金の種類と性質を説明する。(D-2)-(5))
	準備学習	基礎歯科理工学の歯科生体材料 p105-106, p152-153 を参考に講義テーマについて学習する。	

第3学年 後期授業科目 目次

病理診断学実習	58
歯科放射線学	60
保存修復学	62
歯冠補綴架工義歯学	64
歯内療法学	66
歯周疾患治療学	70
顎口腔機能診断学	72
顎口腔機能診断学実習	74
歯科矯正学	76
歯科矯正学実習	78
小児歯科学	80
部分床義歯補綴学	82
全部床義歯補綴学	84
口腔顎顔面外科学	86
口腔腫瘍学	88
歯科症候学演習	92
総合基礎医学演習	96

病理診断学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岡田 康男	3	後期	月曜日	9:00 ~ 12:00	2号館2階 ITセンター

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態・病理を理解する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	高木 實 監修	口腔病理アトラス	第3版	文光堂
	日本歯科大学新潟生命歯学部 病理学講座	病理診断学実習書		
参考書	槻木恵一, 岡田康男 編著	新スタンダード口腔病理学	第2版	学建書院
	井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編集主幹	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
	坂本穆彦 監修	標準病理学	第6版	医学書院

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBLを含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (40%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (40%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての毎回の課題 (レポート) (40%) と実習に対する関心・意欲・態度・レポート提出状況 (20%) および客観試験 (40%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院3階)
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月2日	岡田 康男 東理 頼亮 大野 淳也 長谷川 仁 佐野 拓人 林 俊郎 小澤 一嘉 木暮 ミカ 野原 史子 勝田 仁江	感染症(1) (顎放線菌症, 頸部リンパ節結核)	1) 感染症の病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p109-112, 115, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
10月16日		感染症(2) (急性偽膜性カンジダ症) 口腔粘膜疾患(1) (尋常性天疱瘡, 類天疱瘡)	1) 感染症の病態, 病理について説明する。 2) 口腔粘膜疾患の種類, 病態, 病理について説明する。 3) 自己免疫疾患の病態, 病理について説明する。 4) 病理組織標本を適切に取り扱う。 5) 整理整頓された環境を維持する。 6) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p109, 110, 116, 117, 140, 141, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
10月23日		口腔粘膜疾患(2) (上皮性異形成, 口腔扁平苔癬)	1) 口腔粘膜疾患の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 潜在的悪性疾患の前癌病変の病因と病態について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 整理整頓された環境を維持する。 5) 実際の患者さんを想定して行う。
	準備学習: 教科書 p127-130, 137, 138, 144-146, 235-239, 242, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		
10月30日		唾液腺疾患 (粘液嚢胞, Sjögren症候群)	1) 唾液腺疾患の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 唾液腺停滞嚢胞の病態, 病理を説明する。 3) 自己免疫疾患の病態, 病理を説明する。 4) 病理組織標本を適切に取り扱う。 5) 整理整頓された環境を維持する。 6) 実際の患者さんを想定して行う。
	準備学習: 教科書 p175-180, 202-204, 291, 292, 301, 302, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月6日	岡田 康男 東理 頼亮 大野 淳也 長谷川 仁 佐野 拓人 林 俊郎 小澤 一嘉 木暮 ミカ 野原 史子 勝田 仁江	唾液腺良性腫瘍 (多形腺腫, Warthin 腫瘍)	1) 良性唾液腺腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p305 ~ 310, 325, 326, 329, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
11月13日		唾液腺悪性腫瘍 (腺様嚢胞癌, 粘表皮癌)	1) 悪性唾液腺腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p305-310, 313-315, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
11月20日		歯原性嚢胞(1) (歯根嚢胞, 含歯性嚢胞, 歯原性角化嚢胞)	1) 歯原性嚢胞の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 腫瘍性性質を有する歯原性嚢胞と症候性疾患との関連について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 整理整頓された環境を維持する。 5) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p175-183, 189-191, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
11月27日		歯原性嚢胞(2) (石灰化歯原性嚢胞) 非歯原性嚢胞 (甲状舌管嚢胞, リンパ上皮性嚢胞)	1) 歯原性嚢胞の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 非歯原性嚢胞の種類, 病態, 病理について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 整理整頓された環境を維持する。 5) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p175-183, 185, 200, 201, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
12月4日		歯原性腫瘍(1) (エナメル上皮腫, 腺腫様 歯原性腫瘍)	1) 歯原性腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p205-209, 216-220, 223, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
12月11日		歯原性腫瘍(2) (歯原性粘液腫, セメント 質骨形成線維腫)	1) 歯原性腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。
		準備学習: 教科書 p205-209, 229, 231, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。	
12月18日	非歯原性腫瘍(1) (扁平上皮癌, 乳頭腫, 血管腫)	1) 非歯原性腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。	
	準備学習: 教科書 p235-244, 264, 265, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		
12月25日	非歯原性腫瘍(2)・腫瘍類 似疾患 (神経鞘腫, エプーリス, 線維性異形成症)	1) 非歯原性腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 非歯原性腫瘍類似疾患の種類, 病態, 病理について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 整理整頓された環境を維持する。 5) 実際の患者さんを想定して行う。	
	準備学習: 教科書 p158, 249-253, 270, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		
1月15日	齶蝕・歯髄炎 (エナメル質齶蝕, 象牙質 齶蝕, 慢性増殖性歯髄炎)	1) 齶蝕症の所見から齶蝕症とそれに継発する歯髄の急性や慢性的炎症の病態, 病理について説明する。 2) 病理組織標本を適切に取り扱う。 3) 整理整頓された環境を維持する。 4) 実際の患者さんを想定して行う。	
	準備学習: 教科書 p33-49, 53-55, 61, 62, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		
1月22日	論述・多肢選択試験および バーチャルスライドによる 実習	1) 口腔・顎顔面領域に発現する疾患の病態, 病理について説明する。 2) 口腔領域に症状を発現する全身的な腫瘍について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 実際の患者さんを想定して行う。	
	準備学習: 10月2日~1月15日に行った範囲について学習する。		
1月29日	非歯原性腫瘍(3) (脂肪腫, 悪性リンパ腫)	1) 非歯原性腫瘍の種類, 病態, 病理について説明する。 2) 非歯原性腫瘍類似疾患の種類, 病態, 病理について説明する。 3) 病理組織標本を適切に取り扱う。 4) 整理整頓された環境を維持する。 5) 実際の患者さんを想定して行う。	
	準備学習: 教科書 p267, 279, 実習書および参考書で実習テーマについて学習する。		

歯科放射線学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小椋 一郎	3	後期	金曜日	13:00 ~ 14:20	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科医療において、放射線を有効かつ安全に利用し、適切な画像検査、診断および放射線治療を行うために必要な知識を修得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	岡野友宏, 小林 馨, 有地榮一郎 編	歯科放射線学	第6版	医歯薬出版
参考書				

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (50%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (50%) と論述形式筆記試験 (50%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：16:30 ~ 17:00 場所：歯科放射線学講座研究室 (新潟病院 1 階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月6日	小椋 一郎	顎骨の嚢胞と腫瘍	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(5), (6) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(5), (6)
	準備学習	教科書 第5章(7)の要点を確認する。	
10月13日	小椋 一郎	歯と顎骨の外傷	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(2) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(2)
	準備学習	教科書 第5章(14)の要点を確認する。	
10月20日	佐々木善彦	顎骨とその周囲の炎症	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(3) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(3)
	準備学習	教科書 第5章(6)の要点を確認する。	
10月27日	亀田 綾子	齶蝕・歯周疾患・歯髄 根尖性歯周組織疾患 歯の異常 歯科インプラントの検査	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-3-3) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-3-3)
	準備学習	教科書 第5章(2-5, 18)の要点を確認する。	
11月10日	亀田 綾子	全身疾患 加齢に伴う変化 摂食嚥下機能の診断 法歯学と歯科X線画像	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(10), (11) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(10), (11)
	準備学習	教科書 第5章(11, 16, 17)・第7章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月17日	亀田 綾子	顎関節の病変 上顎洞の病変 歯と顎の成長と障害	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(1), (3), (7)) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(1), (3), (7))
	準備学習	教科書 第5章(12, 13, 15)の要点を確認する。	
11月24日	小椋 一朗	放射線と歯科医療 画像診断まとめ1	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 画像所見を説明し, 鑑別診断する。(E-2-4)
	準備学習	教科書 第1章(1-3)・第5章(2-7, 11-18)の要点を確認する。	
12月1日	佐々木善彦	舌下・顎下 頸部の疾患	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(5), (6) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(5), (6))
	準備学習	教科書 第5章(8)の要点を確認する。	
12月8日	佐々木善彦	唾液腺の病変	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(8) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(8))
	準備学習	教科書 第5章(9)の要点を確認する。	
12月15日	亀田 綾子	口腔の悪性腫瘍 胸部X線画像	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4)-(6) 2) 検査画像を解釈し, 画像所見を説明する。(E-2-4)-(6))
	準備学習	教科書 第5章(10, 19)の要点を確認する。	
12月22日	小椋 一朗	診断入門 画像診断まとめ2	1) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 2) 画像所見を説明し, 鑑別診断する。(E-2-4)
	準備学習	教科書 第5章(1-19)の要点を確認する。	
1月12日	亀田 綾子	放射線とその性質 X線画像形成	1) 電磁放射線と粒子放射線の発生と性質を説明する。(E-1-2)-1) 2) 画像形成過程を説明する。(E-1-2)-④, ⑤)
	準備学習	教科書 第2章(1)・第3章(1-7)の要点を確認する。	
1月19日	亀田 綾子	X線検査	1) X線検査を説明する。(E-1-2)-⑥, ⑦, ⑧)
	準備学習	教科書 第4章 (1-5, 12, 13) の要点を確認する。	
1月26日	亀田 綾子	CT・MRI 超音波検査 核医学検査	1) CT, MRI, 超音波検査, 核医学検査を説明する。(E-1-2)-⑨)
	準備学習	教科書 第4章 (6-11) の要点を確認する。	
2月2日	亀田 綾子	放射線影響と防護 放射線治療	1) 人体に対する影響を説明する。(E-1-2)-2) 2) 放射線防護の方法を説明する。(E-1-2)-③) 3) 放射線治療を説明する。(E-2-4)-(6))
	準備学習	教科書 第2章 (2-5)・第6章 (1-4) の要点を確認する。	

保存修復学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
新海 航一	3	後期	火曜日	9:00～10:20	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯の硬組織疾患を的確に修復治療し長期にわたって歯の審美性・機能性を維持させるために、硬組織疾患の病因・病態、診察・検査・診断法、治療法および予防法を学習し、歯の硬組織疾患の治療ならびに予防に必要な基本的知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	千田 彰 他	保存修復学	第7版	医歯薬出版
参考書	田上順次 他	保存修復学 21	第六版	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (100%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：木曜日 時間帯：16:00～17:00 場所：歯科保存学第2 講座研究室 (7号館4階)
 事前にメールで要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月3日	新海 航一	コンポジットレジン修復③ (臨床的特徴と光照射器)	1) コンポジットレジン修復の臨床的特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-3) 2) 光照射器の種類と特徴を説明する。(D-2-1)
	準備学習	教科書・第5章 p154-160 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
10月10日	新海 航一	コンポジットレジン修復④ (適応症と窩洞の特徴)	1) コンポジットレジン修復の適応症を説明する。(E-3-3)-(1)-③) 2) コンポジットレジン修復窩洞の特徴を説明する。(E-3-3)-(1)-⑥)
	準備学習	教科書・第5章 p158-161 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
10月17日	新海 航一	コンポジットレジン修復⑤ (基本的手順)	1) コンポジットレジン修復の基本的手順を説明する。(E-3-3)-(1)-③)
	準備学習	教科書・第5章 p162-170 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
10月24日	新海 航一	コンポジットレジン修復⑥ (予後) 補修修復	1) コンポジットレジン修復の予後を説明する。(E-3-3)-(1)-⑧) 2) 補修修復を説明する。(E-3-3)-(1)-⑧)
	準備学習	教科書・第8章 p241-245 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
10月31日	新海 航一	ガラスアイオノマーセメントの組成, 種類 (分類), 硬化機序および諸性質	1) ガラスアイオノマーセメントの組成, 種類 (分類) および諸性質を説明する。(D-2-①, E-3-3)-(1)-③) 2) ガラスアイオノマーセメントの硬化機序を説明する。(D-2-①)
	準備学習	教科書・第5章 p170-173 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
11月7日	新海 航一	ガラスアイオノマーセメント修復の特徴, 用途, 基本的手順および予後	1) ガラスアイオノマーセメント修復の特徴と用途を説明する。(E-3-3)-(1)-③) 2) ガラスアイオノマーセメント修復の基本的手順と予後を説明する。(E-3-3)-(1)-③・⑧)
	準備学習	教科書・第5章 p173-177 の要点確認と課題のレポートを作成する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月14日	鈴木 雅也	メタルインレー修復① (特徴, 適応症および基本的手順)	1) メタルインレー修復の特徴と適応症を説明する。 (D-2-②, E-3-3)-(1)-③) 2) メタルインレー修復の基本的手順を説明する。 (D-2-②, E-3-3)-(1)-③)
	準備学習	教科書・第6章 p193-200, 206, 207 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
11月21日	鈴木 雅也	メタルインレー修復② (メタルインレー製作法と予後)	1) 鋳造法を用いたメタルインレーの製作法を説明する。(D-2-②) 2) メタルインレー修復の予後を説明する。(E-3-3)-(1)-⑧)
	準備学習	教科書・第6章 p200-206 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
11月28日	鈴木 雅也	コンポジットレジニンレー修復 (特徴, 製作法および基本的手順)	1) コンポジットレジニンレー修復の特徴を説明する。(D-2-②) 2) コンポジットレジニンレー修復の製作法を説明する。(D-2-②) 3) コンポジットレジニンレー修復の術式を説明する。(D-2-②)
	準備学習	教科書・第6章 p207-211 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
12月5日	鈴木 雅也	セラミックインレー修復① (特徴と製作法)	1) セラミックインレー修復の特徴を説明する。(D-2-②) 2) セラミックインレーの製作法を説明する。(D-2-②)
	準備学習	教科書・第6章 p207-214 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
12月12日	鈴木 雅也	セラミックインレー修復② (基本的手順)	1) セラミックインレー修復の基本的手順を説明する。 (D-2-②, E-3-3)-(1)-③)
	準備学習	教科書・第6章 p214-216 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
12月19日	鈴木 雅也	歯科用CAD/CAMによる修復法 (特徴, 装置と材料および臨床術式)	1) CAD/CAM 修復の特徴を説明する。(D-2-①・②) 2) CAD/CAM 修復の装置と材料を説明する。(D-2-①・②) 3) CAD/CAM 修復の臨床術式を説明する。(D-2-①・②)
	準備学習	教科書・第6章 p216-224 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
1月16日	鈴木 雅也	ラミネートベニア修復 (特徴, 適応症, 窩洞形成, 基本的手順および予後)	1) ラミネートベニア修復の特徴, 適応症および窩洞形成を説明する。 (E-3-3)-(1)-③・⑥) 2) ラミネートベニア修復の基本的手順と予後を説明する。 (E-3-3)-(1)-③・⑧)
	準備学習	教科書・第6章 p224-231 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
1月23日	新海 航一	合着用・接着用セメントの種類と所要性質 各種間接法修復物の合着と接着	1) 合着用・接着用セメントの種類と所要性質を説明する。(D-2-③) 2) 間接法修復物の合着と接着を説明する。(D-2-③, E-3-3)-(1)-③)
	準備学習	教科書・第6章 p181-192 の要点確認と課題のレポートを作成する。	
1月30日	新海 航一	変色歯の漂白機序, 漂白法の種類, 特徴, 適応症および予後	1) 変色歯の漂白機序を説明する。(E-3-3)-(1)-①) 2) 漂白法の種類, 特徴, 適応症および予後を説明する。(E-3-3)-(1)-①)
	準備学習	教科書・第4章 p85-90 の要点確認と課題のレポートを作成する。	

歯冠補綴架工義歯学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
上田 一彦	3	後期	金曜日	14:40 ~ 16:00	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯質の崩壊や歯の欠損に起因する顎口腔機能障害を回復し、QOLを維持するクラウンブリッジ補綴を行うために、顎口腔機能障害の機序を理解し、その診断と治療計画の立案に必要な基本的知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川 匠	クラウンブリッジ補綴学	第6版	医歯薬出版
参考書	中原 泉, 藤井一維	常用歯科辞典	第4版	医歯薬出版
	日本補綴歯科学会	歯科補綴学専門用語集	第5版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBLを含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%) と、毎回の講義への出席状況 (遅刻, 早退含む) と課題の提出状況を含めた授業に対する関心・意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 金曜日 時間: 16時30分から18時00分まで 場所: 歯科補綴学第2講座研究室 (7号館4階)
 * ga-hotetsu2(at)ngt.ndu.ac.jp までメールにて事前に予約を取った上で訪問すること。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月6日	上田 一彦	クラウンブリッジ治療の定義と意義	1) クラウンブリッジの意義と具備条件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) クラウンブリッジ治療と健康維持を説明する。 3) クラウンブリッジ治療の利点と欠点を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 4) クラウンブリッジ治療の歴史を説明する
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p1-7, 37-41 を予習する。	
10月13日	瀬戸 宗嗣	クラウンブリッジの生存率と口腔インプラント治療の生存率	1) クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明する。((E-3-4)-(1)-⑫) 2) クラウンブリッジ生存率を説明する。 3) クラウンブリッジのEBMを説明する。 4) 失敗のリスクを説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p8-18 を予習する。	
10月20日	上田 一彦	咬合・歯周組織の正常像と咬合・咀嚼障害	1) 咬合の原則を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) クラウン, 歯周組織, 歯周病の関係を説明する。 3) 咬合・咀嚼障害を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p19-42 (p37-41を除く) を予習する。	
10月27日	瀬戸 宗嗣	診察と診断と感染予防	1) 医療面接と診察を説明する。 2) 検査を説明する。 3) 評価と診断を説明する。 4) 感染予防を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p43-59 を予習する。	
11月10日	上田 一彦	治療計画と治療計画を左右する因子	1) 口腔内の因子を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) 全身的因子を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 3) 社会的・心理的因子を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 4) クラウンブリッジの失敗の原因を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p60-67 を予習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月17日	瀬戸 宗嗣	クラウンブリッジの要件	1) 生物学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) 機能的・審美的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 3) 力学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 4) 材料学的要件を説明する。((E-3-4)-(1)-⑧) 5) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p68-82 を予習する。	
11月24日	上田 一彦	クラウンの種類と構成(1) 全部被覆冠	1) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 全部被覆冠の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 全部被覆冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 陶材焼付冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) レジン前装冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 6) ジャケットクラウンの特徴と適応症を説明する。(E-3-4)-(1)-②) 7) オールセラミッククラウンの特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p72-77 を予習する。	
12月1日	瀬戸 宗嗣	クラウンの種類と構成(2) 部分被覆冠とポストクラウン(継続歯)	1) クラウンの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 部分被覆冠を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 部分被覆冠の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 部分被覆冠の特徴と適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) ポストクラウンを説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p72, 77-82 を予習する。	
12月8日	上田 一彦	支台築造	1) 支台築造の意義を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 2) 支台築造の種類, 特徴および方法を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 3) 築造窩洞形成の原則と手順を説明する。((E-3-4)-(1)-③) 4) 支台築造の選択基準を説明する。((E-3-4)-(1)-③)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p126-133 を予習する。	
12月15日	瀬戸 宗嗣	ブリッジの種類と構成	1) ブリッジの臨床的意義を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) ブリッジの適応症を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) ブリッジの構成要素を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) ブリッジの種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p83-90, 295-301 を予習する。	
12月22日	上田 一彦	ブリッジの設計(1)	1) 支台歯の負担能力を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) 欠損歯数と支台歯数を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) 支台装置の選択を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) 咬合と咬合負担を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p91-96 を予習する。	
1月12日	瀬戸 宗嗣	ブリッジの設計(2)	1) ポンティック基底面形態の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 2) ブリッジの連結法を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 3) ブリッジの連結法の種類を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 4) ブリッジの連結部の要件を説明する。((E-3-4)-(1)-②) 5) クラウンブリッジの製作過程における基本的手技を説明する。 (E-3-4)-(1)-②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p96-101 を予習する。	
1月19日	上田 一彦	インフォームドコンセント	1) インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明する。 (E-3-4)-(1)-①) 2) インフォームドコンセントの成立要件を説明する。 3) 説明文書・同意文書記載上の注意点を説明する。 4) インフォームドコンセントに必要な事項を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p102-106 を予習する。	
1月26日	瀬戸 宗嗣	前処置	1) 補綴前処置の意義と目的を説明する。((E-3-4)-(1)-①) 2) 前処置の種類を説明する。 3) 予防的処置, 外科的処置, 保存的処置, 矯正の処置, 補綴的処置を説明する。 4) 前処置の実施時期を説明する。
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p107-113 を予習する。	
2月2日	上田 一彦	総括	
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p1-113 を復習する。	

歯内療法学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
北島 佳代子	3	後期	火曜日	14:40～16:00	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯を長期間保存し機能を営ませることにより、全身の健康の維持と増進を図るために、歯の硬組織、歯髄、根尖歯周組織に生じる疾患について理解し、歯髄疾患や根尖歯周組織疾患に罹患した歯を健康状態に回復させるのに必要な歯内療法知識を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	勝海一郎 他編	歯内治療学	5	医歯薬出版
参考書	興地隆史 他編集主幹	エンドドンティクス	5	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (20%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (80%), 毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する意欲・態度 (20%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 木曜日 時間: 18:00～19:00 場所: 歯科保存学第1講座研究室 (新潟病院 4階)

※事前にメールで予約すること。

質問用 E-mail アドレス: ga-hozon1(at)ngt.ndu.ac.jp でも対応可能。(件名に学生No.氏名, 授業担当者名を入れること。)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月3日	佐藤 友則	根管処置(3) IV 根管の化学的清掃 V 根管の消毒 (根管貼薬)	1) 根管の化学的清掃を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 根管の消毒を説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 根管の貼薬を説明する。(E-3-3-(2)-①)
	準備学習	教科書第7章(IV-V)の要点確認する。	
10月10日	佐藤 友則	根管処置(4) VI 根管内容物の検査 VII 根管治療の補助療法 VIII 再根管治療	1) 根管内容物の検査を説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) 根管治療の補助療法を説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) 再管治療を説明する。(E-3-3-(2)-①, ④)
	準備学習	教科書第7章(VI-VIII)の要点確認する。	
10月17日	佐藤 友則	根管充填(1) I 根管充填の目的と意義 II 根管充填の時期 III 根管充填材の所要性質 IV 根管充填材の種類	1) 根管充填の目的, 意義を説明する。(E-3-3-(2)-②) 2) 根管充填の時期を説明する。(E-3-3-(2)-②) 3) 根管充填材の所要性質を説明する。(E-3-3-(2)-3-②) 4) 根管充填材の種類を説明する。(E-3-3-(2)-②)
	準備学習	教科書第8章(I-IV)の要点確認する。	
10月24日	佐藤 友則	根管充填(2) V 根管充填の術式 VI 即時根管充填法 VII 根管充填後の治癒経過	1) 根管充填の術式を説明する。(E-3-3-(2)-②) 2) 即時根管充填法を説明する。(E-3-3-(2)-①, ②) 3) 根管充填後の治癒経過を説明する。(E-3-3-(2)-④)
	準備学習	教科書第8章(V-VII)の要点確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月31日	新井 恭子	緊急処置 I 疼痛に対する緊急処置 II 急性歯髄炎の緊急処置 III 急性根尖性歯周炎の緊急処置	1) 疼痛に対する緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①, ③) 2) 急性歯髄炎の緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①, ③) 3) 急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明する。(E-3-3-(2)-①, ③)
	準備学習	教科書第9章の要点確認する。	
11月7日	北島佳代子	根未完成歯の治療 I アペキソゲネーシス II アペキシフィケーション III アペキソゲネーシスおよびアペキシフィケーションの適応症例, 歯内治療の将来	1) アペキソゲネーシスを説明する。(E-3-3-(2)-①) 2) アペキシフィケーションを説明する。(E-3-3-(2)-①) 3) アペキソゲネーシスとアペキシフィケーションの適応症例を説明する。(E-3-3-(2)-①)
	準備学習	教科書第10章の要点確認する。	
11月14日	北島佳代子	歯根の病的吸収 I 内部吸収 II 外部吸収	1) 歯根の内部吸収を説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑦) 2) 歯根の外部吸収を説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑦)
	準備学習	教科書第11章の要点確認する。	
11月21日	北島佳代子	外傷歯の診断と処置 I 外傷歯の分類 II 外傷歯の診査・検査 III 外傷歯の治療	1) 外傷歯の分類を説明する。(E-2-4)-(2)-③, E-3-3-(2)-①) 2) 外傷歯の診査・検査を説明する。(E-2-4)-(2)-③, E-3-3-(2)-①) 3) 外傷歯の治療法について説明する。(E-2-4)-(2)-③, E-3-3-(2)-①)
	準備学習	教科書第12章の要点確認する。	
11月28日	北島佳代子	外科的歯内治療 I 外科的歯内治療の適応症と種類 II 外科的歯内治療の術式および治癒機転と予後	1) 外科的歯内治療の適応症を説明する。(E-3-3-(2)-⑤) 2) 外科的歯内治療の種類を説明する。(E-3-3-(2)-⑤) 3) 外科的歯内治療の術式を説明する。(E-3-3-(2)-⑤) 4) 外科的歯内治療の治癒機転を説明する。(E-3-3-(2)-⑤) 5) 外科的歯内治療の予後を説明する。(E-3-3-(2)-⑤)
	準備学習	教科書第13章の要点確認する。	
12月5日	北島佳代子	歯科用実体顕微鏡を応用した歯内治療 I 歯科用実体顕微鏡による検査 II 歯科用実体顕微鏡による処置の特徴 III 診療ポジション IV 適応症	1) 歯科用実体顕微鏡による検査を説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑤) 2) 歯科用実体顕微鏡による処置の特徴を説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑤) 3) 歯科用実体顕微鏡使用時の診療ポジションを説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑤) 4) 歯科用実体顕微鏡使用の適応症を説明する。(E-3-3-(2)-①, ⑤)
	準備学習	教科書第14章の要点確認する。	
12月12日	新井 恭子	変色歯の漂白 1. 変色歯の分類 2. 変色歯の漂白 3. 適応と禁忌 4. 偶発症 5. ウォーキングブリーチ法の手順 根管処置後の歯冠修復 I コロナルリーケージ II 支台築造	1) 変色歯の分類を説明する。(E-3-3-(2)-⑥) 2) 変色歯の漂白を説明する。(E-3-3-(2)-⑥) 3) 変色歯の漂白の適応症と禁忌症を説明する。(E-3-3-(2)-⑥) 4) 漂白時の偶発症を説明する。(E-3-3-(2)-⑥) 5) ウォーキングブリーチ法の手順を説明する。(E-3-3-(2)-⑥) 6) コロナルリーケージを説明する。(E-3-3-(2)-①, ④), 7) 支台築造を説明する。(E-3-4)-(1)-③)
	準備学習	教科書第15章, 第18章の要点確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月19日	新井 恭子	歯内-歯周疾患 I 歯内疾患と歯周疾患の関連性 II 歯内-歯周疾患の分類と臨床症状 III 歯内-歯周疾患の診断と治療	1) 歯内-歯周疾患について説明する。 (E-3-3-(2)-①, E-3-3-(3)-①, ②) 2) 歯内疾患と歯周疾患の関連性を説明する。 (E-3-3-(2)-①, E-3-3-(3)-①, ②)) 3) 歯内-歯周疾患の分類と臨床症状を説明する。 (E-3-3-(2)-①, E-3-3-(3)-①) 4) 歯内-歯周疾患の診断と治療を説明する。 (E-3-3-(2)-①, ②, E-3-3-(3)-②)
	準備学習	教科書第16章の要点確認する。	
1月16日	佐藤 友則	高齢者・有病者の歯内治療 I 高齢者の心身における特徴 II 全身疾患と歯内治療 III 高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違い IV 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療	1) 高齢者の特徴を説明する。(E-5-1)-①, ②, ③) 2) 全身疾患と歯内治療を説明する。(E-5-1)-①, ②, ③) 3) 高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違いを説明する。 (E-5-1)-⑤, ⑥) 4) 高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療を説明する。(E-5-1)
	準備学習	教科書第17章の要点確認する。	
1月23日	新井 恭子	歯内治療における安全対策(1) 1. 歯室壁・根管壁の穿孔 2. 治療用小器具の根管内破折 3. 治療用器具の誤飲と気管内吸引	1) 歯室壁・根管壁の穿孔の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-①, ③, ④) 2) 治療用小器具の根管内破折の予防と対応を説明する。 (E-3-3-(2)-①, ③, ④) 3) 治療用器具の誤飲と気管内吸引の予防と対応を説明する。 (E-3-3-(2)-③)
	準備学習	教科書第19章(1-3)の要点確認する。	
1月30日	新井 恭子	歯内治療における安全対策(2) 4. 皮下気腫 5. 根管処置後の根尖性歯周炎 6. 歯性上顎洞炎 7. 抜髄・根管処置時の全身管理 8. 根管充填材の溢出 9. 根管治療薬剤による化学的損傷 10. 使用器材による組織損傷	1) 皮下気腫の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-③) 2) 根管処置後の根尖性歯周炎の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-③) 3) 歯性上顎洞炎の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-③) 4) 抜髄・根管処置時の全身管理を説明する。(E-3-3-(2)-③) 5) 根管充填材の溢出の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-③) 6) 根管治療薬剤による化学的損傷の予防と対応を説明する。 (E-3-3-(2)-③) 7) 使用器材による組織損傷の予防と対応を説明する。(E-3-3-(2)-③)
	準備学習	教科書第19章(4-10)の要点確認する。	

歯周疾患治療学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	3	後期	火曜日	10:40～12:00	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯周病学を理解するために、歯周組織についての基礎的な知識を深め、さらに歯肉炎および歯周炎の治療法について臨床で必要とされる基礎知識を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	村上伸也ら編	臨床歯周病学	第3版	医歯薬出版
	特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編	歯周病学用語集	第3版	医歯薬出版
参考書	沼部幸博ら編集主幹	ザ・ペリオドントロジー	第4版	永末書店

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (50%) 論述試験 (40%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シミュレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式 (50%) および記述式 (40%) の筆記試験と課題提出を含む授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

月曜日・17:00～18:00・新潟病院4階 歯周病学講座研究室
 ※事前にメール [ga-shishu(at)ngt.ndu.ac.jp] で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月3日	佐藤 聡	歯周外科概論(1)	1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 2) 歯周外科治療の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-(4), (5) 3) 歯周外科治療に用いる器具を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-(5)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 19章の要点を確認する。	
10月10日	両角 祐子	歯周外科概論(2)	1) 歯周外科治療の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 2) 歯周外科治療の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-(4), (5) 3) 歯周外科治療に用いる器具を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-(5)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 19章の要点を確認する。	
10月17日	丸山 昂介	組織付着療法	1) 歯周ポケット搔爬術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 2) 新付着術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 3) フラップ手術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-(5)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 20章の要点を確認する。	
10月24日	両角 祐子	切除療法	1) 歯肉切除術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 2) 歯肉弁根尖側移動術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 3) 歯槽骨外科手術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 4) ディスタルウェッジ手術を説明する。(E-3-3)-(3)-(4) 5) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-(5)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 21章の要点を確認する。	
10月31日	高柴 正悟	歯周病の検査	1) 歯周病の診断と治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-(1) 2) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 3) 歯周病の診断の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-(2) 4) 歯周病の診断の目的を説明する。(E-3-3)-(3)-(2)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 11～13章の要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月7日	両角 祐子	歯周組織再生療法(1)	1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) GTR 法を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) エナメルマトリックスデリバティブを応用した歯周外科治療を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 22章(A-C)の要点を確認する。	
11月14日	両角 祐子	歯周組織再生療法(2)	1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 塩基性線維芽細胞増殖因子を応用した歯周外科治療を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) 骨移植術を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 細胞治療を概説する。(E-3-3)-(3)-④) 5) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 22章(D-F)の要点を確認する。	
11月21日	佐藤 聡	歯周組織再生療法(3)	1) 歯周組織再生療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 22章の要点を確認する。	
11月28日	両角 祐子	根分岐部病変の治療	1) 根分岐部病変の分類を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 2) 根分岐部病変の原因を説明する。(E-3-2)-③, ④) 3) 根分岐部病変の検査法を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 4) 根分岐部病変の治療方針を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 5) 根分岐部病変の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-④)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 23章の要点を確認する。	
12月5日	佐藤 聡	歯周形成手術	1) 歯周形成手術を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ④) 2) 歯周形成手術の種類を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 3) 歯周形成手術の適応症を説明する。(E-3-3)-(3)-④) 4) 歯周外科治療後の治癒形態を説明する。(E-3-3)-(3)-⑤)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 24章の要点を確認する。	
12月12日	丸山 昂介	口腔機能回復治療	1) 口腔機能回復治療を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) 永久固定を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 歯周補綴を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 4) 歯周-矯正治療を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 5) インプラント治療を概説する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 25-29章の要点を確認する。	
12月19日	両角 祐子	メンテナンス・SPT	1) メンテナンスを説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) SPTを説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 30章の要点を確認する。	
1月16日	佐藤 聡	薬物療法 歯周-歯内病変	1) 歯周治療における薬物療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②) 2) LDDSを説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 歯周-歯内病変の原因と病態を説明する。(E-3-2)-③, ④) 4) 歯周-歯内病変の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 31, 32章の要点を確認する。	
1月23日	佐藤 聡	レーザー治療 包括的歯周治療 高齢者と有病者の治療	1) レーザー治療の意義を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 2) レーザー治療の歯周治療への応用を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 3) 包括的歯周治療の概略を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③) 4) 高齢者の特徴と歯周病との関連を概説する。(E-3-3)-(3)-①) 5) 有病者の歯周治療を概説する。(E-3-3)-(3)-①, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 33-35章の要点を確認する。	
1月30日	佐藤 聡	特殊な歯周病の治療	1) 特殊な歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-③, ④) 2) 特殊な歯周病の病態を説明する。(E-3-3)-(3)-③) 3) 特殊な歯周病の治療法を説明する。(E-3-3)-(3)-②, ③)
	準備学習	教科書 臨床歯周病学 36章の要点を確認する。	

顎口腔機能診断学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水橋 史	3	後期	火曜日	13:00 ~ 14:20	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

顎口腔機能の的確な検査・診断ならびに顎関節症の診断と治療を行うために、顎口腔機能と調和した咬合構成基準を習得する。

著者・编者	書名	版	出版社
教科書 小出 馨 編	臨床機能咬合学 -咬合の7要素によるオクルージョンの臨床-	第1版	医歯薬出版
参考書			

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (60%) 論述試験 (25%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (15%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (60%) と論述形式筆記試験 (25%) および毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (15%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日, 金曜日 時間帯：12:00 ~ 13:00 場所：歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
 事前にメール [ga-hotetsul(at)ngt.ndu.ac.jp] で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月3日	渡會 侑子	印象採得と診断用模型の製作	1) 印象採得方法を説明する。(E-2-4)-(11)-1) 2) 印象材の種類と特性を説明する。(D-2-2) 3) 歯科用石膏の種類と特性を説明する。(D-2-2) 4) 模型製作のための材料と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-9)
	準備学習	顎口腔機能診断学実習書 第1章 を読み、要点を確認する。	
10月10日	浅沼 直樹	診断に必要な顎口腔系の機能解剖	1) 咀嚼系筋群の検査と評価法について説明する。(E-2-1)-3) 2) 筋の触診の手順を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節の構造と機能を説明する。(E-2-1)-6) 4) 顎関節疾患の症状, 診断法を説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part1 を読み、要点を確認する。	
10月17日	水橋 史	咬合器の種類と構造	1) 各種咬合器の構造と特徴について説明する。(E-3-4)-(1)-10) 2) 調節性咬合器の操作法について説明する。(E-3-4)-(1)-10) 3) 咬合器の発展経緯について説明する。(E-3-4)-(1)-10)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part13 を読み、要点を確認する。	
10月24日	佐藤 利英	フェイスボウトランスファー	1) フェイスボウトランスファーの意義と操作法について説明する。(E-3-4)-(2)-10) 2) 上顎模型の咬合器装着法を列挙する。(E-3-4)-(1)-10) 3) フェイスボウの器材について説明する。(E-3-4)-(1)-10)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part10.Section3 を読み、要点を確認する。	
10月31日	水橋 史	咬合器の調節, チェックバイト	1) 各種咬合器について説明する。(E-3-4)-(1)-10) 2) 咬合器の顎路調節法について説明する。(E-3-4)-(1)-10) 3) チェックバイトの意義について説明する。(E-3-4)-(1)-10) 4) チェックバイト法の意義について説明する。(E-3-4)-(1)-10)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part13 を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月7日	佐藤 利英	有歯顎の咬合診断(1) 偏心位ガイドの部位と方向	1) 偏心位の接触様式を列挙する。(E-2-4)-(11)-1) 2) 偏心位でのガイドの部位と方向について説明する。(E-2-4)-(11)-1) 3) 咬合平面の位置と彎曲度について説明する。(E-2-4)-(11)-1)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part9・Part10 を読み、要点を確認する。	
11月14日	水橋 史	有歯顎の咬合診断(2) 咬合平面	1) 咬合平面の位置と彎曲度について説明する。(E-2-4)-(11)-1) 2) 咬合平面の診断機器の使用法を説明する。(E-2-4)-(11)-1) 3) 各平面・彎曲について説明する。(E-2-4)-(11)-1)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part11・Part12 を読み、要点を確認する。	
11月21日	水橋 史	有歯顎の咬合診断(3) 有歯顎模型上での咬合分析	1) カスプトゥフォッサを説明する。(E-2-2)-4) 2) カスプトゥリッジを説明する。(E-2-2)-4) 3) 前歯部歯冠形態の連続性について説明する。(E-2-2)-4) 4) 臼歯部歯冠形態の連続性について説明する。(E-2-2)-4)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part2・Part7 を読み、要点を確認する。	
11月28日	浅沼 直樹	顎関節の検査	1) 咀嚼系筋群の検査と評価法について説明する。(E-2-1)-3) 2) 顎関節の構造と機能について説明する。(E-2-1)-6) 3) 顎関節の触診の手順について説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part3 を読み、要点を確認する。	
12月5日	浅沼 直樹	顎関節症の診断	1) 顎関節疾患の種類と特徴について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 2) 顎関節疾患の症状、診断法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節症の原因・症状・病態について説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part4.Section1 を読み、要点を確認する。	
12月12日	渡會 侑子	顎関節症の治療(1) マニピュレーション	1) 顎関節疾患の診断法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 2) 顎関節疾患の治療法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) マニピュレーションについて説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part4.Section2 を読み、要点を確認する。	
12月19日	佐藤 利英	筋の検査	1) 咀嚼系筋群の検査と評価法について説明する。(E-2-1)-3) 2) 咀嚼筋、表情筋の構成と機能について説明する。(E-2-1)-3) 3) 筋の触診の手順について説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part3 を読み、要点を確認する。	
1月16日	佐藤 利英	症例に応じた咬合採得	1) 咬合採得に用いる材料と方法を説明する。(E-3-4)-(1)-5) 2) 有歯顎者の咬合採得法について説明する。(E-3-4)-(1)-5) 3) 部分欠損症例の咬合採得法について説明する。(E-3-4)-(2)-6) 4) 無歯顎症例の咬合採得法について説明する。(E-3-4)-(2)-6)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part6 を読み、要点を確認する。	
1月23日	渡會 侑子	顎関節症の治療(2) スプリント療法	1) 顎関節疾患の診断法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 2) 顎関節疾患の治療法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) スプリント療法について説明する。(E-2-4)-(7)-2) 4) 理学療法、薬物療法について列挙する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part14 を読み、要点を確認する。	
1月30日	水橋 史	総括	1) 補綴装置の検査と評価法について説明する。(E-2-4)-(11)-1) 2) 顎口腔系の検査・診断について列挙する。(E-2-4)-(11)-1)
	準備学習	臨床機能咬合学 Part1 を読み、要点を確認する。	

顎口腔機能診断学実習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水橋 史	3	後期	木曜日	9:00～12:00	マルチメディア臨床基礎実習室

科目の到達目標 (GIO)

顎口腔機能の診断に必要な顎関節，筋，咬合に対する的確な診査・検査ならびに分析・評価のために，基本的知識と技術を習得する。

	著者・编者	書名	版	出版社
教科書	歯科補綴学第1講座 編	顎口腔機能診断学実習書	第10版	日本歯科大学 新潟生命歯学部
参考書	小出 馨，井出吉信 編	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖	第7版	医歯薬出版
	小出 馨 編	臨床機能咬合学 －咬合の7要素によるオクルージョンの臨床－	第1版	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 (デモンストレーション)

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (20%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (70%) 態度 (授業態度，遅刻，欠席を含む) (10%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (20%) と製作物の習得度を含めた実習に対する関心・意欲・態度 (80%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月曜日，金曜日 時間帯：12:00～13:00 場所：歯科補綴学第1講座研究室 (7号館3階)
 事前にメール [ga-hotetsul(at)ngt.ndu.ac.jp] で要予約

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月5日	水橋 史 浅沼 直樹 佐藤 利英 渡會 侑子	概形印象採得 (OSCE 課題 3-4)	1) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 研究用模型の製作を実施する。(E-3-4)-(1)-(9)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第1章を読み，要点を確認する。	
10月12日		上顎印象採得，診断用模型の製作	1) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 研究用模型の製作を実施する。(E-3-4)-(1)-(9)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第1章を読み，要点を確認する。	
10月19日		下顎印象採得，診断用模型の製作	1) 印象採得を実施する。(E-3-4)-(1)-(5) 2) 研究用模型の製作を実施する。(E-3-4)-(1)-(9)
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第1章を読み，要点を確認する。		
10月26日	咬合器の取り扱い	1) 咬合器の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) 各種咬合器の特徴を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 咬合器の取り扱いを実施する。(E-3-4)-(1)-(10)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第2章を読み，要点を確認する。		
11月2日	ファントムでのフェイスボウトランスファー	1) フェイスボウトランスファーを実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) 上顎模型の咬合器装着を実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) フェイスボウの材料について説明する。(E-3-4)-(1)-(10)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第3章を読み，要点を確認する。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月9日	水橋 史 浅沼 直樹 佐藤 利英 渡會 侑子	フェイスボウトランスファーと咬合器への上顎模型の装着	1) フェイスボウトランスファーを実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) 上顎模型の咬合器装着を実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) フェイスボウの材料について説明する。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第3章を読み、要点を確認する。	
11月16日		咬合器への下顎模型装着	1) 下顎模型の咬合器装着を実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) 下顎模型の咬合器装着法を説明する。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第3章を読み、要点を確認する。	
11月30日		チェックバイトと咬合診査	1) アンテリアジグの製作法を説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) チェックバイト法を説明する。(E-3-4)-(2)-(8) 3) 偏心位の接触様式の診査を実施する。(E-2-4)-(11)-(1)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第4章を読み、要点を確認する。	
12月7日		咬合彎曲の診査, 咬合器の種類	1) 咬合器上での咬合診断を実施する。(E-2-4)-(11)-(1) 2) 咬合器上で咬合平面の彎曲度の分析を実施する。(E-2-4)-(11)-(1) 3) 咬合器の種類を説明する。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第2章・第5章を読み、要点を確認する。	
12月14日		咬合器の顎路調節	1) 咬合器の取り扱いを実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 2) チェックバイトで顎路調節を実施する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 顎路角の読み取りを実施する。(E-3-4)-(1)-(10)
		準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第6章を読み、要点を確認する。	
12月21日	カスプトゥフォッサ有歯顎模型製作	1) カスプトゥフォッサを説明する。(E-2-2)-(4) 2) ペインティング模型の製作を実施する。(E-2-2)-(4) 3) 咬合接触関係と臼歯部歯冠形態の連続性の評価を実施する。(E-2-2)-(4)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第7章を読み、要点を確認する。		
1月11日	筋の検査・診断	1) 咀嚼系筋群の検査を実施する。(E-2-4)-(7)-(2) 2) 咀嚼筋, 表情筋の触診を実施する。(E-2-4)-(7)-(2) 3) 適切な部位の筋の触診を実施する。(E-2-4)-(7)-(2)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第8章を読み、要点を確認する。		
1月18日	顎関節の検査・診断(1) 顎関節の触診	1) 咀嚼系筋群の検査を実施する。(E-2-4)-(7)-(2) 2) 顎関節の触診を実施する。(E-2-4)-(7)-(2) 3) 適切な部位の顎関節の触診を実施する。(E-2-4)-(7)-(2)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第9章を読み、要点を確認する。		
1月25日	顎関節の検査・診断(2) 顎路運動経路分析	1) SCMレコーダーによる顎頭運動描記を実施する。(E-3-4)-(2)-(7) 2) 顎頭運動の分析を実施する。(E-3-4)-(2)-(7) 3) SCMレコーダーによる顎関節の病態診断を実施する。(E-3-4)-(2)-(7)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第10章を読み、要点を確認する。		
2月1日	筆記試験	1) 顎口腔機能診断の方法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2) 2) フェイスボウトランスファーについて説明する。(E-3-4)-(1)-(10) 3) 臼歯の咬合関係について説明する。(E-2-2)-(4) 4) 咀嚼系筋群と顎関節の検査と評価法を説明する。(E-2-4)-(7)-(2)	
	準備学習：顎口腔機能診断学実習書 第1～10章を読み、要点を確認する。		

歯科矯正学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
小林 さくら子	3	後期	水曜日	14:40～16:00	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

国民の健康に寄与し患者の QOL の向上に資する歯科医師となるために、矯正歯科治療の必要性および基本的な知識を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	飯田順一郎 他 著	歯科矯正学	6 版	医歯薬出版
参考書				

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (80%) 論述試験 (20%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多肢選択肢形式問題 (80%) と論述試験 (20%) で評価する。遅刻, 欠席を含む態度は減点式とする。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

金曜日・17:00～18:00・7号館4階歯科矯正学講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月4日	亀田 剛	治療学概論 矯正力	1) 矯正歯科治療の種類を列記する。(E-4-1)-③) 2) 矯正歯科治療の開始時期と流れを説明する。(E-4-1)-③) 3) 矯正力の種類, 分類, 作用様式を説明する。(E-4-1)-⑥) 4) 歯の移動様式を説明する。(E-4-1)-⑥)
	準備学習	教科書 p191-199 を読み, 要点を確認する。	
10月11日	亀田 剛	矯正歯科治療における固定	1) 固定法を分類する。(E-4-1)-⑥) 2) 固定の定義を述べる。(E-4-1)-⑥) 3) 固定の意義を説明する。(E-4-1)-⑥)
	準備学習	教科書 p200-207 を読み, 要点を確認する。	
10月18日	亀田 剛	矯正用材料・器械・器具 矯正用材料の特性	1) 矯正歯科治療に用いる器材の名称と使い方を説明する。(E-4-1)-④) 2) 歯科用器械・器具の用途と特徴について列記する。(D-1)-④) 3) 矯正治療に必要な力学を説明する。(E-4-1)-⑥)
	準備学習	教科書 p208-214, 384-400 を読み, 要点を確認する。	
10月25日	太田 信	矯正装置(1) 矯正装置の種類と特徴 器械的矯正装置-固定式 矯正装置 唇舌側弧線装置・マルチブラケット装置 拡大装置	1) 矯正装置の基本的条件と分類を列記する。(E-4-1)-⑤) 2) 唇舌側弧線装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) マルチブラケット装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤) 4) 拡大装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p215-240 を読み, 要点を確認する。	
11月1日	太田 信	矯正装置(2) 器械的矯正装置-可撤式 矯正装置 可撤式矯正装置・顎外 固定装置	1) 可撤式矯正装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤) 2) 顎外固定装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p241-252 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月8日	太田 信	矯正装置(3) 機能的矯正装置	1) 機能的矯正装置の種類, 特徴および使用目的を説明する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p252-259 を読み, 要点を確認する。	
11月15日	太田 信	乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療(1)	1) 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の特徴を述べる。(E-4-1)-⑤) 2) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の留意点を列記する。(E-4-1)-⑤) 3) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の目的を説明する。(E-4-1)-⑤) 4) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を説明する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p263-284 を読み, 要点を確認する。	
11月22日	太田 信	乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療(2)	1) 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の特徴を述べる。(E-4-1)-③) 2) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の留意点を列記する。(E-4-1)-③) 3) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療の目的を説明する。(E-4-1)-③) 4) 乳歯列期・混合歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を類別する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p263-284 を読み, 要点を確認する。	
11月29日	小林さくら子	永久歯列期の矯正歯科治療(1) 上顎前突・下顎前突 叢生・上下顎前突	1) 永久歯列期の各種不正咬合の特徴を列記する。(E-4-1)-③) 2) 上顎前突・下顎前突の機能性要因・骨格性要因・歯性要因を述べる。(E-4-1)-③) 3) 上顎前突・下顎前突の形態的特徴を説明する。(E-4-1)-③) 4) 叢生の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-③) 5) 上下顎前突の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-③) 6) 永久歯列期の矯正歯科治療に使用する装置を説明する。(E-4-1)-⑤)
	準備学習	教科書 p285-304 を読み, 要点を確認する。	
12月6日	小林さくら子	永久歯列期の矯正歯科治療(2) 過蓋咬合・開咬 交叉咬合・埋伏・外傷	1) 永久歯列期の各種不正咬合の特徴を列記する。(E-4-1)-③) 2) 過蓋咬合・開咬の特徴を説明する。(E-4-1)-③) 3) 開咬の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-③) 4) 過蓋咬合の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-③) 5) 交叉咬合の特徴を説明する。(E-4-1)-③) 6) 交叉咬合の原因・治療法を列記する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p305-326 を読み, 要点を確認する。	
12月13日	小林さくら子	保定	1) 保定の概念と種類を説明する。(E-4-1)-③) 2) 保定装置の種類, 機能, 使用目的および保定期間を説明する。(E-4-1)-⑤) 3) 不正咬合の再発とその防止策を述べる。(E-4-1)-⑦)
	準備学習	教科書 p327-335 を読み, 要点を確認する。	
12月20日	寺田 員人	チーム医療の中の矯正歯科治療(1) 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療	1) 他科との協同を必要とする。矯正歯科治療を説明する。(A-5-1)-①) 2) 口唇・口蓋裂の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p336-344 を読み, 要点を確認する。	
1月17日	太田 信	チーム医療の中の矯正歯科治療(2) 顎変形症の矯正歯科治療	1) 外科的矯正治療の目的・適応症を説明する。(E-4-1)-③) 2) 外科的矯正治療の手順を列記する。(E-4-1)-③) 3) 術前・術後矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-③) 4) 顎矯正手術を列記する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p345-352 を読み, 要点を確認する。	
1月24日	後藤 翔	チーム医療の中の矯正歯科治療(3) 顎関節症の矯正歯科治療 その他の矯正歯科治療	1) 顎関節症患者の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-③) 2) 歯周病患者の矯正歯科治療を説明する。(E-4-1)-③) 3) その他の矯正歯科治療との連携治療を説明する。(E-4-1)-③)
	準備学習	教科書 p353-369 を読み, 要点を確認する。	
1月31日	亀田 剛	矯正歯科治療における口腔衛生管理 矯正歯科治療に伴う偶発症・併発症	1) 矯正歯科治療中における口腔環境の特殊性を述べる。(E-4-1)-③) 2) 矯正歯科治療中における口腔衛生指導・管理の必要性を説明する。(E-4-1)-⑦) 3) 矯正歯科治療に伴う偶発症の原因, 予防, 対処法を説明する。(E-4-1)-⑦)
	準備学習	教科書 p370-383 を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月9日	小林さくら子 亀田 剛 瀬戸 淑子 後藤 翔 太田 信 齊藤 久絵 稲富 弘毅	自在鑑着(2)	1) 自在鑑着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) 自在鑑着を実施する。(E-4-1)-⑤) 3) 弾線を屈曲する。(E-4-1)-⑤)
準備学習：歯科矯正学実習書 p39-47 を読み、要点を確認する。			
11月16日		舌側弧線装置(1)	1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-⑤) 3) 弾線を自在鑑着する。(E-4-1)-⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)
準備学習：歯科矯正学実習書 p49-62 を読み、要点を確認する。			
11月30日		舌側弧線装置(2)	1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-⑤) 3) 弾線を自在鑑着する。(E-4-1)-⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)
準備学習：歯科矯正学実習書 p49-62 を読み、要点を確認する。			
12月7日		舌側弧線装置(3)	1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-⑤) 3) 弾線を自在鑑着する。(E-4-1)-⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)
準備学習：歯科矯正学実習書 p49-62 を読み、要点を確認する。			
12月14日		舌側弧線装置(4)	1) 舌側弧線装置の作製・装着に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) 舌側弧線装置を作製する。(E-4-1)-⑤) 3) 弾線を自在鑑着する。(E-4-1)-⑤) 4) 補助弾線を屈曲する。(E-4-1)-⑤) 5) 舌側弧線装置の取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)
準備学習：歯科矯正学実習書 p49-62 を読み、要点を確認する。			
12月21日	アクチバトール(1)	1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)	
準備学習：歯科矯正学実習書 p74-87 を読み、要点を確認する。			
1月11日	アクチバトール(2)	1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)	
準備学習：歯科矯正学実習書 p74-87 を読み、要点を確認する。			
1月18日	アクチバトール(3)	1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)	
準備学習：歯科矯正学実習書 p74-87 を読み、要点を確認する。			
1月25日	アクチバトール(4)	1) アクチバトールの製作に用いる器具・器材を操作する。(E-4-1)-④) 2) アクチバトールを作製する。(E-4-1)-⑤) 3) アクチバトールの取り扱いを説明する。(OSCE 課題 4-6)	
準備学習：歯科矯正学実習書 p74-87 を読み、要点を確認する。			
2月1日	筆記試験		
準備学習：歯科矯正学実習内容を確認する。			

小児歯科学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
黒木 淳子	3	後期	水曜日	9:00～10:20	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

人の一生 (life cycle) の中で胎児期から成人にいたる小児の口腔ならびに顎顔面領域の健康を維持増進させ、健全な顎口腔の形態と機能を予防育成し、疾患や異常を治療するとともに、口腔の健康管理を行うための理論と方法を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	編集主幹 新谷誠康 編集委員 木本茂成, 黒木淳子, 齊藤一誠, 齊藤正人, 島村和宏, 星野倫範	小児歯科学ベーシックテキスト 小児歯科学クリニカルテキスト	第3版	永末書店
参考書	編著 白川哲夫, 福本敏, 岩本勉, 森川和政	小児歯科学	第6版	医歯薬出版株式会社

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (95%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (5%)

成績評価方法

一般目標で示した項目についての多選択肢形式筆記試験 (95%) と、毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (5%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

- ・対面を希望する場合：講義を行った日の16:00～16:30の間(メールにて要予約)で、小児歯科学講座医局にて行う。
- ・メールを希望する場合：講座の課題提出・質問用メールアドレス宛に、「講義担当者名・質問」のタイトルで質問内容を送信する。

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月4日	黒木 淳子	小児歯科学の意義と目的	1) 小児歯科学の意義を説明する。(B-1-①～③) 2) 小児歯科学の目的を説明する。(B-1-①～③) 3) 小児歯科の特徴を説明する。(B-1-①～③) 4) 小児歯科医療の流れを説明する。(B-1-①～③)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p1-7 を学習する。	
10月11日	黒木 淳子	心身の発育(1)	1) 成長, 発達, 発育の定義を説明する。(C-3-2)-④) 2) 発育の特徴, 奇形を説明する。(C-3-2)-④) 3) 身体の成長の特徴, およびその評価法を説明する。(C-3-2)-④)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p9-30 を学習する。	
10月18日	黒木 淳子	心身の発育(2)	1) 小児の発達(原始反射, 運動, 認知, 言語, 社会性, 情緒), およびその評価法を説明する。(C-3-2)-④) 2) 小児の生理的特徴を説明する。(C-3-2)-④) 3) 小児期の栄養の特徴を説明する。(B-1)-③) 4) 口腔機能の発達と食育を説明する。(B-1-③, C-3-2)-③)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p31-38, 51-57, 64-65 を学習する。	
10月25日	坂井 幸子	頭蓋と顎の発育	1) 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化), 骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。(C-3-4)-(2)-④) 2) 口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。(E-2-3)-②) 3) 構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。(E-2-2)-⑧) 4) 口腔機能の評価法を説明できる。(C-3-2)-③④)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p39-50, 57-63, 66-70 を学習する。	
11月1日	黒木 淳子	歯の発育と異常	1) 乳歯と永久歯の発育過程を, 歯の発育段階に沿って説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯の萌出を説明する。(E-3-1)-①) 3) 歯の形成異常について説明する。(E-3-1)-③, E-3-2)-①) 4) 歯質の異常について説明する。(E-3-1)-③, E-3-2)-①) 5) 歯の色調異常について説明する。(E-3-2)-①)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p71-100 を学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月8日	黒木 淳子	歯列および咬合の発育と異常(1)	1) 歯の萌出を説明する。(E-3-1)-①) 2) 歯列・咬合の発育段階について説明する。(E-3-1)-①) 3) 乳歯列の特徴を説明する。(E-2-2)-④) 4) 生理的歯間空隙について説明する。(E-4-2)-⑧) 5) ターミナルプレーンについて説明する。(E-4-2)-⑧) 6) 歯列・咬合の発育に影響を及ぼす因子と、発育異常の原因について説明する。(E-2-2)-④, E-3-1)-①, E-4-2)-①, E-4-2)-⑧)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p101-114 を学習する。	
11月15日	黒木 淳子	歯列および咬合の発育と異常(2)	1) 第一大臼歯の萌出の特徴を説明する。(E-2-2)-④) 2) 第一大臼歯の咬合に関与する因子を説明する。(E-4-2)-⑧) 3) 永久切歯萌出期の特徴を説明する。(E-3-1)-①) 4) リーウェイススペースを説明する。(E-4-2)-⑧) 5) 歯列・咬合の発育に影響を及ぼす因子と、発育異常の原因について説明する。(E-2-2)-④, E-3-1)-①, E-4-2)-①, (E-4-2)-⑧)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p114-130 を学習する。	
11月22日	三瓶 伸也	乳歯・幼若永久歯の特徴	1) 乳歯の役割を説明する。(E-3-1)-④) 2) 乳歯の形態学的、構造的、物理・化学的特徴を説明する。(E-3-1)-②, ④) 3) 幼若永久歯の形態学的、物理・化学的特徴を説明する。(E-3-1)-④) 4) 乳歯と永久歯の違いを説明する。(E-3-1)-④)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p131-145 を学習する。	
11月29日	三瓶 伸也	小児の齲蝕	1) 小児の齲蝕の特徴を説明する。(E-4-2)-①) 2) 小児の齲蝕の為害作用を説明する。(E-4-2)-①)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p147-159 を学習する。	
12月6日	北澤 裕美	小児の歯周組織と歯周疾患	1) 小児の正常歯周組織と歯周疾患における組織変化を説明する。(E-3-1)-⑥, E-4-2)-⑥) 2) 小児の歯周疾患の種類、原因および全身との関連について説明する。(E-3-3)-③-①) 3) 小児の歯周疾患の予防方法を説明する。(B-3-2)-③, ④) 4) 小児の歯周疾患の処置方法を説明する。(E-3-3)-③-②, E-4-2)-⑥)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p161-177 を学習する。	
12月13日	三瓶 素子	小児の歯科の対応	1) 小児の対応に必要な心理を説明する。(E-1-1)-⑤) 2) 小児患者への歯科の対応法を説明する。(E-4-2)-⑩) 3) 小児患者への特殊な対応法について説明する。(E-4-2)-⑩)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p179-190 を学習する。	
12月20日	三瓶 素子	小児の診察・検査・治療計画	1) 小児の医療面接法を説明する。(E-1-1)-③④) 2) 小児の歯科診療の診断に必要な検査項目を説明する。(E-1-1)-①②) 3) 小児の治療方針を説明する。(E-1-1)-⑥)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p191-204 を学習する。	
1月17日	坂井 幸子	小児の齲蝕と進行抑制(1)	1) う蝕の発生機序を説明する。(B-3-2)-①～③) 2) う蝕発症のリスク因子を列挙する。(B-3-2)-⑤) 3) 小児期のう蝕予防法を列挙する。(E-4-2)-②, B-3-2)-①, ②) 4) ミュータンスレンサ球菌の伝播抑制について説明する。(B-3-2)-①～③) 5) 小児期のプラークコントロール法を説明する。(E-4-2)-②, B-3-2)-①, ③, ④) 6) う蝕予防のための食事・生活習慣指導を説明する。(B-3-2)-④, ⑤) 7) フッ化物の応用法を説明する。(B-3-2)-②)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p205-218 を学習する。	
1月24日	坂井 幸子	小児の齲蝕と進行抑制(2) 児童虐待	1) 予防填塞(フィッシャーシーラント)を説明する。(B-3-2)-②) 2) う蝕の進行抑制法を説明する。 3) 児童虐待の定義を説明する。(E-4-2)-⑪) 4) 児童虐待の徴候を説明する。(E-4-2)-⑪) 5) 被虐待児の特徴を説明する。(E-4-2)-⑪) 6) 虐待発見時の対応を説明する。(E-4-2)-⑪)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p218-222, 431-439 を学習する。	
1月31日	黒木 淳子	小児の歯冠修復	1) 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明する。(E-4-2)-③)
	準備学習	小児歯科学ベーシックテキスト第3版 p223-246 を学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月17日	佐藤 利英	サベイングと部分床義歯の設計	1) サベイングの目的を理解する。(E-3-4)-(2)-①) 2) サベイヤの構造を理解する。(E-3-4)-(2)-①) 3) サベイングの手順を理解する。(E-3-4)-(2)-①) 4) サベイングから解ることを説明する。(E-3-4)-(2)-①)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第16章を読み、要点を確認する。	
11月24日	水橋 史	部分床義歯の支持	1) 残存組織の支持能力を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) 部分床義歯の支持の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 義歯床下組織の生物力学について説明する。(E-3-4)-(2)-①) 4) 支台歯の生物力学について説明する。(E-3-4)-(2)-①)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第12章を読み、要点を確認する。	
12月1日	水橋 史	部分床義歯の維持、把持	1) 部分床義歯の維持について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) 構成要素における維持装置について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 支台装置の種類と分類を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 支台装置の構造、働きについて説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第12章を読み、要点を確認する。	
12月8日	渡會 侑子	部分床義歯の支持・維持・把持	1) 残存組織の支持能力を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) 部分床義歯の維持について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 支台装置の所要条件を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 可撤性義歯の要素構成と支持、維持、把持の機構を説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第12章を読み、要点を確認する。	
12月15日	浅沼 直樹	各種支台装置(1)	1) 各種クラスプのデザインについて説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) 支台装置の適応症を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 線鉤と鑄造鉤の違いについて説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 線鉤と鑄造鉤の利点と欠点について説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第21章を読み、要点を確認する。	
12月22日	浅沼 直樹	各種支台装置(2)	1) 各種アタッチメントのデザインについて説明する。(E-3-4)-(2)-④) 2) アタッチメントの適応症を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) 歯冠内・外アタッチメントの違いを説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) フックとスパーについて説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第21章を読み、要点を確認する。	
1月12日	水橋 史	連結装置	1) 連結装置の設計要件を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 2) 連結装置の特性を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 3) 連結装置の具備条件を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 4) 連結装置用の材料について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第22章を読み、要点を確認する。	
1月19日	渡會 侑子	部分床義歯の設計概念(1)	1) 部分床義歯の設計概念を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 2) 部分床義歯設計の理論背景について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 3) 金属床義歯とレジン床義歯の比較について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 4) 歯列欠損の分類に基づく設計について説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第20章を読み、要点を確認する。	
1月26日	渡會 侑子	部分床義歯の設計概念(2)	1) 前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-①) 2) 狭義の前処置について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 3) レストシートを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) ガイドプレーンを付与する意義について説明する。(E-3-4)-(2)-④)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第17章を読み、要点を確認する。	
2月2日	水橋 史	総括	1) 部分床義歯の目的を説明する。(E-3-4)-(2)-②) 2) 欠損分類と欠損様式について列挙する。(E-3-4)-(2)-③) 3) 支台装置の設計に際して考慮すべき因子を説明する。(E-3-4)-(2)-④) 4) 部分床義歯の設計原則を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤)
	準備学習	歯学生のパーシャルデンチャー 第11章を読み、要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月1日	水橋 亮	個人トレー製作, 精密印象採得	1) 個人トレーの製作手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-⑩) 2) 上顎の筋圧形成の手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-6) 3) 下顎の筋圧形成の手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-6) 4) 筋圧形成の意義を説明する。(E-3-4)-(2)-6)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第4章Ⅰ～Ⅲ・Ⅵを読み, 要点を確認する。	
11月8日	水橋 史	作業用模型と咬合床	1) 作業用模型の製作手順を列挙する。(E-3-4)-(2)-⑩) 2) スプリットキャストについて説明する。(E-3-4)-(2)-⑩) 3) 咬合床の製作手順について列挙する。(E-3-4)-(2)-⑩) 4) 咬合床の製作について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第4章Ⅶ・第5章Ⅰを読み, 要点を確認する。	
11月15日	水橋 亮	咬合採得(1) 垂直的顎間関係の記録	1) 仮想咬合平面の決定について説明する。(E-3-4)-(2)-6) 2) 垂直的顎間関係の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-6) 3) 形態的・機能的根拠に基づく方法を説明する。(E-3-4)-(2)-6) 4) ファイスボウトランスファーについて説明する。(E-3-4)-(2)-8)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第5章Ⅱ・Ⅲを読み, 要点を確認する。	
11月22日	水橋 史	咬合採得(2) 水平的顎間関係の記録	1) 水平的顎間関係の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-6) 2) 下顎運動の記録法を説明する。(E-3-4)-(2)-7) 3) チェックバイト法を説明する。(E-3-4)-(2)-8) 4) 顎路調節方法を説明する。(E-3-4)-(2)-8)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第5章Ⅳ～Ⅵを読み, 要点を確認する。	
11月29日	渡會 侑子	人工歯の選択・排列(1) 前歯部	1) 標示線について説明する。(E-3-4)-(2)-9) 2) 人工歯の選択法について説明する。(E-3-4)-(2)-9) 3) 前歯部人工歯の排列について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第7章Ⅱを読み, 要点を確認する。	
12月6日	佐藤 利英	人工歯の選択・排列(2) 臼歯部	1) 人工歯の選択法について説明する。(E-3-4)-(2)-9) 2) 臼歯部人工歯の排列について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩) 3) ニュートラルゾーンの概念について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩) 4) 全部床義歯の咬合様式について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第7章Ⅲを読み, 要点を確認する。	
12月13日	渡會 侑子	歯肉形成, ろう義歯試適	1) ろう義歯製作に必要な器材を列挙する。(E-3-4)-(2)-⑩) 2) 歯肉形成方法について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩) 3) ろう義歯試適について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩) 4) パラトグラム法について説明する。(E-3-4)-(2)-⑩)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第8章を読み, 要点を確認する。	
12月20日	渡會 侑子	埋没・重合	1) 埋没法について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) 埋没時の材料について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 3) 重合時の材料について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 重合後の操作について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第9章を読み, 要点を確認する。	
1月17日	佐藤 利英	リマウント, 削合, 咬合構成, 研磨, 装着	1) 咬合器再装着の手順について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 2) 人工歯の削合法について説明する。(E-3-4)-(2)-5) 3) 研磨の手順について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 義歯の装着, 調整方法について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第10章・第11章を読み, 要点を確認する。	
1月24日	水橋 史	予後管理	1) 予後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭) 2) 義歯の破損の修理について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭) 3) リライン・リベースについて説明する。(E-3-4)-(2)-⑭) 4) 義歯と残存組織の変化について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第12章を読み, 要点を確認する。	
1月31日	水橋 史	特殊な義歯, 総括	1) 全部床義歯の種類, 目的について説明する。(E-3-4)-(2)-2) 2) 全部床義歯の特徴について説明する。(E-3-4)-(2)-3) 3) 全部床義歯の製作過程について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 全部床義歯の管理について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第13～19章を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
11月15日	小林英三郎	炎症性疾患(2) (歯性上顎洞炎・扁桃周囲炎・リンパ節炎・特異性炎・歯性全身感染症)	1) 歯性上顎洞炎の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 2) 歯性リンパ節炎の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 3) 歯性扁桃周囲炎の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(3)-1356) 4) 特異性炎(放線菌症・結核・梅毒)の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(3)-7) 5) 歯性全身感染症(菌血症・敗血症・全身性炎症反応症候群)の診断, 症状, 治療を説明する。(E-2-4)-(3)-4)
	準備学習	教科書 p205-211 を読み, 要点を確認する。	
11月22日	赤柴 竜	嚢胞性疾患(1) (顎骨に発生する歯原性嚢胞)	1) 顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 顎骨に発生する歯原性嚢胞(歯根嚢胞, 含歯性嚢胞, 原始性嚢胞, 残留嚢胞, 肉肉嚢胞, 腺性歯原性嚢胞, 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍)の一般的な症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2) 3) 基底細胞母斑症候群の一般的な症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(10)-5)
	準備学習	教科書 p280-285, 755-761 を読み, 要点を確認する。	
11月29日	小根山隆浩	嚢胞性疾患(2) (顎骨に発生する非歯原性嚢胞, 嚢胞類似疾患)	1) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 顎骨に発生する非歯原性嚢胞(術後性上顎嚢胞, 鼻口蓋管嚢胞, 球状上顎嚢胞, 鼻歯槽嚢胞)の一般的な症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2) 3) 顎骨に発生する嚢胞様病変(単純性骨嚢胞・脈瘤性骨嚢胞・静止性骨空洞)の一般的な症状, 診断法および治療法を説明する。
	準備学習	教科書 p286-291 を読み, 要点を確認する。	
12月6日	五十嵐隆一	嚢胞性疾患(3) (軟組織に発生する嚢胞)	1) 軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(5)-1) 2) 口腔・顎顔面領域の軟組織に発生する嚢胞(粘液嚢胞・ガマ腫・類皮嚢胞・類表皮嚢胞・鰓嚢胞・甲状舌管嚢胞・鼻歯槽嚢胞)の一般的な症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(5)-2)
	準備学習	教科書 p274-280, 751-755 を読み, 要点を確認する。	
12月13日	戸谷 収二	血液疾患(1) (赤血球系疾患, 白血球系疾患)	1) 貧血(小球性低色素性貧血・正球形正色素性貧血・大球形正色素性貧血)の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 2) 白血球減少症および白血病(急性骨髄性・慢性骨髄性・急性リンパ性・骨髄異形成症候群)の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1)
	準備学習	教科書 p254-263, 357-360 を読み, 要点を確認する。	
12月20日	戸谷 収二	血液疾患(2) (出血性素因)	1) 血管壁の異常による出血性素因の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 2) 血小板の異常による出血性素因の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 3) 凝固因子の異常による出血性素因の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1) 4) その他の異常(線溶系・複合性)による出血性素因の病態, 症状, 診断法, 治療について説明する。(E-2-4)-(10)-1)
	準備学習	教科書 p263-271 を読み, 要点を確認する。	
1月17日	赤柴 竜	顎関節疾患(1) (損傷・炎症・腫瘍)	1) 顎関節疾患の種類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-1) 2) 顎関節の外傷および脱臼の症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節の炎症の症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 4) 顎関節の腫瘍・腫瘍類似病変の症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(6)-2)
	準備学習	教科書 p388-402 を読み, 要点を確認する。	
1月24日	中谷 佑哉	顎関節疾患(2) (顎顎関節症, 顎関節強直症)	1) 顎関節症の分類と特徴を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 2) 顎関節症の症状, 診断法および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2) 3) 顎関節強直症の原因, 症状および治療法を説明する。(E-2-4)-(7)-2)
	準備学習	教科書 p402, 405-411, 824-827 を読み, 要点を確認する。	
1月31日	戸谷 収二	まとめ	1) 口腔顎顔面領域に生じる疾患の症状, 診断および治療について再確認する。
	準備学習	これまでの授業ノート(前期・後期), 課題ノートを確認する。	

口腔腫瘍学

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
岡田 康男	3	後期	金曜日	10:40 ~ 12:00	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

歯科医師として必要な口腔・顎顔面領域に発現する腫瘍、腫瘍類似疾患や鑑別を要する疾患について理解を深めるために、臨床的、病理組織学的、免疫組織化学的および分子病理学的な分類、病因、病態ならびに特徴を習得する。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書	井上 孝, 岡田康男, 長谷川博雅, 前田初彦 編集主幹	病理学総論にもとづく口腔病理学	第3版	永末書店
参考書	榎木恵一, 岡田康男 編著	新スタンダード口腔病理学	第2版	学建書院
	高木 實 監修	口腔病理アトラス	第3版	文光堂

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (90%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (10%)

成績評価方法

行動目標で示した項目についての客観試験 (90%) と毎回の講義の際の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (10%) により評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 水曜日 時間帯: 17:00 ~ 18:00 場所: 病理学講座 (新潟病院 3 階)
 事前にメールで要予約 (メールアドレスは開講日に通知する)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月6日	岡田 康男	口腔潜在的悪性疾患と鑑別疾患 (上皮性異形成, 白板症, 紅板症, 紅板白板症, 扁平苔癬, 梅毒, 粘膜下線維症, 円板状エリテマトーデス, カンジダ症, 咬みタバコ関連角化症, リバーススモッキングによる口蓋病変)	1) 潜在的悪性疾患の分類と特徴について説明する。 (C-5-6)-②~④, E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(6)-⑤, ⑥ 2) 潜在的悪性疾患としての前癌病変の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-⑤ 3) 潜在的悪性疾患としての前癌状態の病因と病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-⑥ 4) 口腔・顎顔面領域の腫瘍と鑑別を要する疾患について説明する。 (E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(6)-④
	準備学習	教科書の CHAPTER 7「腫瘍」の「11. 口腔粘膜の潜在的悪性疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
10月13日	岡田 康男	口腔癌の発生, 増殖, 浸潤, 頸部リンパ節転移, 遠隔臓器転移, 重複癌, 転移癌	1) 口腔癌の発生, 増殖, 浸潤の病態について説明する。 (C-5-6)-②, ⑥, E-2-4)-(6)-①, ③ 2) 口腔癌における頸部リンパ節転移のステップ, 病態について説明する。 (C-5-6)-⑥, E-2-4)-(6)-③ 3) 口腔癌における遠隔臓器転移のステップ, 病態について説明する。 (C-5-6)-⑥, E-2-4)-(6)-③ 4) 重複癌 (口腔癌と他臓器癌) の病態について説明する。 (E-2-4)-(6)-③, E-2-4)-(10)-④ 5) 他臓器癌の口腔領域への転移における病態について説明する。 (E-2-4)-(10)-④
	準備学習	教科書の CHAPTER 7「腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月20日	束理 頼亮	色素性腫瘍と鑑別疾患 (悪性黒色腫, 母斑, メラニン沈着症, 乳児色素性神経外胚葉性腫瘍, 金属刺青)	1) 色素性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-①, ②, E-2-4)-(4)-②, E-2-4)-(6)-①~③) 2) 色素性腫瘍の遺伝子変異パターン, 紫外線曝露の程度と解剖学的部位による分類について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(4)-①, ②, E-2-4)-(6)-①~③) 3) 色素性腫瘍の遺伝子変異について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①) 4) 色素性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
10月27日	大野 淳也	唾液腺腫瘍と鑑別を要する疾患 (唾液腺炎, Küttner 腫瘍, IgG4 関連疾患, Sjögren 症候群, Sjögren-Larsson 症候群, 新生児エリテマトーデス, 壊死性唾液腺化生, 唾石)	1) 唾液腺腫瘍と鑑別を要する疾患について説明する。 (E-2-4)-(8)-②, ③, ⑤~⑦, E-2-4)-(10)-③, ⑤) 2) 唾液腺腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, ⑤, ⑥, E-2-4)-(8)-④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 6「炎症および関連疾患」の「16. 唾液腺の炎症および関連疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
11月10日	岡田 康男	歯原性腫瘍 (エナメル上皮腫, 石灰化上皮性歯原性腫瘍, 腺腫様歯原性腫瘍, 歯牙腫, 歯原性線維腫・粘液腫), 腫瘍性性質を有する歯原性嚢胞と症候群(歯原性角化嚢胞, 母斑性基底細胞癌症候群, 石灰化歯原性嚢胞, セメント質骨形成線維腫)	1) 歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 2) 歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 3) 歯原性腫瘍における遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-②) 4) 顎骨外に発生する歯原性嚢胞の分類, 病態・病理, 診断について説明する。 (E-2-4)-(6)-①~③) 5) 歯原性角化嚢胞と石灰化歯原性嚢胞について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②) 6) 母斑性基底細胞癌症候群の全身的症状と診断方法について説明する。 (E-2-4)-(10)-④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「9. 歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	
11月17日	束理 頼亮	歯原性腫瘍と鑑別を要する疾患 (歯原性嚢胞, 非歯原性嚢胞, 類皮・類表皮嚢胞)	1) 歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 2) 歯原性嚢胞, 非歯原性嚢胞の分類と特徴について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②) 3) 歯原性腫瘍と鑑別を要する疾患について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②, E-2-4)-(10)-④) 4) 歯原性嚢胞に由来する悪性腫瘍について説明する。 (E-2-4)-(5)-①, ②, E-2-4)-(6)-③)
	準備学習	教科書のCHAPTER 6「炎症および関連疾患」の「10. 根尖性歯周炎, 11. 顎骨, 顎関節の炎症および関連疾患」, CHAPTER 8「遺伝子異常・先天異常・発育異常」の「5. 口腔領域の発育異常と関連疾患, 6) 発育性嚢胞, 7) 口腔領域の嚢胞性疾患の分類」および参考書で講義テーマについて学習する。	
11月24日	束理 頼亮	肉腫とその分子病理 (軟骨肉腫, 骨肉腫, 横紋筋肉腫, 平滑筋肉腫, 滑膜肉腫, 脂肪肉腫)	1) 肉腫の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①, ③) 2) 肉腫の病因と病態について説明する。(C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①, ③) 3) 肉腫の遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-②) 4) 肉腫における遠隔転移の病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-③)
	準備学習	参考書の新スタンダード口腔病理学, 口腔病理アトラスで講義テーマについて学習する。	
12月1日	大野 淳也	非歯原性腫瘍と腫瘍様病変(1) (脂肪腫, 顆粒細胞腫, 切断神経腫, 神経鞘腫, 神経線維腫, 多発性神経内分泌腫瘍症)	1) 非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-①~③) 2) 非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-①~③) 3) 非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-④) 4) 口腔領域に症状を発現する全身的な腫瘍について説明する。 (E-2-4)-(10)-④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患, 2) 非歯原性腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月8日	束理 頼亮	非歯原性腫瘍と腫瘍様病変(2) (乳頭腫, 黄色腫, 血管・リンパ管腫, 線維腫, エプーリス, 線維上皮性ポリープ, 義歯性線維腫)	1) 非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-(①~③) 2) 非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。(C-5-6)-(②, E-2-4)-(6)-(①~③) 3) 非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-(④) 4) エプーリスの病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-(④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「12. 口腔粘膜の腫瘍, 腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
12月15日	束理 頼亮	顎骨の非歯原性腫瘍, 類似疾患と鑑別疾患 (類骨骨腫, 骨腫, 外骨症, 骨芽細胞腫, セメント芽細胞腫, 骨形成線維腫, 骨性異形成症, 線維性異形成症, 滑膜軟骨腫症)	1) 顎骨の非歯原性腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(6)-(①, ②) 2) 顎骨の非歯原性腫瘍の病因と病態について説明する。(C-5-6)-(②, E-2-4)-(6)-(①, ②) 3) 顎骨の非歯原性腫瘍類似疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(6)-(④) 4) 顎関節腫瘍の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(7)-(①, ②)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「13. 顎骨の腫瘍と腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
12月22日	佐野 拓人	生検, 細胞診, 術中迅速病理診断検査, 手術における検体の取り扱い, 切り出し, 染色, 標本作製	1) 病理組織診断(生検)の目的・意義と精度管理について説明する。(E-1-1)-(①, ②, ⑦, E-2-4)-(3)-(③, E-2-4)-(5)-(②, E-2-4)-(6)-(②, ③, E-2-4)-(7)-(②, E-2-4)-(8)-(③, ④, ⑥, ⑦) 2) 病理組織検体の取り扱いと標本作製法(細胞診と組織診)について説明する。(E-2-4)-(3)-(③, E-2-4)-(5)-(②, E-2-4)-(6)-(②, ③, E-2-4)-(7)-(②, E-2-4)-(8)-(③, ④, ⑥, ⑦)
	準備学習	教科書のCHAPTER 1「病理学とは」の「2. 人体病理学」と参考書で講義テーマについて学習する。	
1月12日	大野 淳也	白血病, 悪性リンパ腫および鑑別疾患とその分子病理 (急性・慢性白血病, 悪性リンパ腫, 組織球性壊死性リンパ節炎, 頸部リンパ節結核, キメラ遺伝子, 遺伝子再構成)	1) 白血病, 悪性リンパ腫の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(10)-(①, ④) 2) 白血病, 悪性リンパ腫の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(10)-(①, ④) 3) 白血病, 悪性リンパ腫の遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-(②, E-2-4)-(10)-(①, ④) 4) 白血病, 悪性リンパ腫と鑑別を要する疾患の病因と病態について説明する。(E-2-4)-(3)-(①~③, ⑦, E-2-4)-(10)-(①, ②)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「14. 口腔顎顔面に症状を表す腫瘍・腫瘍類似疾患」と参考書で講義テーマについて学習する。	
1月19日	長尾 俊孝	特別講義: 唾液腺腫瘍 (多形腺腫・由来癌, Warthin 腫瘍, 腺様嚢胞癌, 粘表皮癌)	1) 唾液腺腫瘍の分類と特徴について説明する。(E-2-4)-(8)-(④) 2) 唾液腺腫瘍の病因と病態について説明する。(C-5-6)-(②, E-2-4)-(8)-(④) 3) 唾液腺腫瘍の遺伝子変異について説明する。(C-5-6)-(②, E-2-4)-(8)-(④)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」の「10. 唾液腺腫瘍」と参考書で講義テーマについて学習する。	
1月26日	岡田 康男	分子標的治療を目的とした診断(プレジジョンメディスン, コンパニオン診断), ヒトの死, 剖検, CPC	1) 腫瘍の分子標的治療を目的としたプレジジョンメディスンについて説明する。(E-1-1)-(①, ②, ⑥, E-2-4)-(6)-(③, E-2-4)-(8)-(④) 2) プレジジョンメディスンのためのコンパニオン診断について説明する。(E-1-1)-(①, ②, ⑥, E-2-4)-(6)-(③, E-2-4)-(8)-(④) 3) 病理組織診断(剖検)の目的・意義について説明する。(C-5-7), E-1-1)-(①, ⑦, ⑧, E-2-4)-(6)-(③, E-2-4)-(8)-(④) 4) 病理診断依頼書, 剖検依頼書の作成手順について説明する。(C-5-7), E-1-1)-(⑦, ⑧) 5) 臨床診断に病理組織学的所見を加えた総合的な最終診断について説明する。(E-1-1)-(⑦) 6) 病理組織診断報告書の作成手順について説明する。(E-1-1)-(⑦) 7) CPCについて説明する。(E-1-1)-(①)
	準備学習	教科書のCHAPTER 7「腫瘍」, CHAPTER 1「病理学とは」, CHAPTER 9「個体の死」および参考書で講義テーマについて学習する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
2月2日	岡田 康男	口腔癌の分子病理 (ゲノムシーケンス, 癌幹細胞, 癌抑制遺伝子, キメラ遺伝子, micro-RNA, 上皮間葉転換, 間葉上皮転換)	1) 口腔癌の病因と病態について説明する。 (C-5-6)-②, E-2-4)-(6)-③) 2) 口腔癌の癌幹細胞起源説について説明する。(C-5-6)-②) 3) 口腔癌における癌抑制遺伝子, 癌遺伝子について説明する。 (C-2-2)-⑤, C-5-6)-②) 4) 口腔癌におけるゲノムシーケンス, 遺伝子変異, micro-RNA について説明する。(C-2-2)-①~③, ⑤, C-5-6)-②) 5) 口腔癌における上皮間葉転換, 間葉上皮転換について説明する。 (C-5-6)-②, ⑥)
	準備学習	教科書の CHAPTER 7「腫瘍」, 参考書および2年時病理学教科書で講義テーマについて学習する。	

歯科症候学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
水谷 太尊	3	後期	月曜日	13:00 ~ 16:00	4号館2階 組織・微生物実習室

科目の到達目標 (GIO)

社会の急速な進歩とニーズに対応するために、問題解決能力を身につけた歯科医師になるための総合的な知識、コミュニケーション技能、態度を身につける。

	著者・編者	書名	版	出版社
教科書				
参考書	北川昌伸/仁木利郎	標準病理学	5	医学書院
	森本俊文, 他	歯科基礎生理学	6	医歯薬出版
	早川太郎, 他	口腔生化学	6	医歯薬出版
	石原和幸, 他	口腔微生物学	7	学建書院
	榎本昭二, 他	最新 口腔外科学	5	医歯薬出版
	森戸光彦, 他	老年歯科医学	1	医歯薬出版

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (60%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
- 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
- 観察記録 (10%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (30%)

成績評価方法

一般目標, 行動目標で示した項目についての多選択肢形式試験 (70%) と, 毎回の小テストを含めた授業に対する関心・意欲・態度 (30%), 観察記録 (10%) より評価を行う。

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日: 月曜日 時間帯: 17:30 ~ 18:00 場所: 総合診療科医局 (水谷 新潟病院 3階)

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月2日	東理 頼亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 北澤 裕美 海老原 隆 吉井 大貴 二宮 一智 小根山隆浩 水橋 史	オリエンテーション, グループ学習 (PBL, TBL の説明), アイスブレイク (水谷太尊)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
		課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。	
10月16日	戸谷 収二 太田 信 稲富 弘毅 佐藤 友則 清水 公太 高塩 智子 丸山 昂介 水橋 亮 水谷 太尊 他未定	舌炎 (東理頼亮)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
		課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月23日	東理 頼亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 北澤 裕美 海老原 隆 吉井 大貴 二宮 一智 小根山隆浩 水橋 史 渡會 侑子 戸谷 収二 太田 信 稲富 弘毅 佐藤 友則 清水 公太 高塩 智子 丸山 昂介 水橋 亮 水谷 太尊 他未定	歯肉出血・抜歯後出血 (中谷佑哉)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
		課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。	
10月30日		小児の齲蝕 (三瓶伸也)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
		課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。	
11月6日		成人の齲蝕 (海老原 隆)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
	課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。		
11月13日		歯科金属のアレルギー (二宮一智)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
	課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。		
11月20日		全身疾患の治療薬に関連する口腔症状 (小林英三郎)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
	課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。		
11月27日		摂食嚥下障害 (水橋 史)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
	課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。		

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
12月4日	東理 頼亮 中谷 佑哉 小林英三郎 三瓶 伸也 北澤 裕美 海老原 隆 吉井 大貴 二宮 一智 小根山隆浩 水橋 史 渡會 侑子 戸谷 収二 太田 信 稲富 弘毅 佐藤 友則 清水 公太 高塩 智子 丸山 昂介 水橋 亮 水谷 太尊 他未定	口腔乾燥 (戸谷収二)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
12月11日		不正咬合 (太田 信)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
12月18日		歯の疼痛 (佐藤友則)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
12月25日		歯周組織の疼痛 (高塩智子)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
1月15日		他臓器癌, 重複癌 (東理頼亮)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
1月22日		認知症患者の口腔症状 (水橋 史)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			
1月29日		医療安全 (水谷太尊)	1) 課題で示された病態・症候を理論的に自分の言葉で説明する。(A-6-2)-2) 2) 患者や疾患の分析をもとに, 教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合し, 疾患の理解・診断・治療の進化につなげる。(A-6-2)-3) 3) 学習の過程・技能・成果を同僚評価する。(A-6-2)-2) 4) 歯科臨床と基礎医学との関わりを説明する。(A-6-2)-2)
課題の主題に関連する教科書を事前に指示する。			

総合基礎医学演習

授業責任者	学年	学期	曜日	時間	場所
佐藤 聡	3	後期	火曜日	16:20～17:40	511 番教室

科目の到達目標 (GIO)

基礎系科目と臨床系科目の関連性を意識し、1年次～3年次の各科目のコアカリキュラムに則った内容を総合的に理解する。

著者・編者	書名	版	出版社
教科書	各分野で指定された教科書		
参考書			

学習方略 (重複可)

- 講義 示説 グループ討議 (PBL, TBL を含む) 実習
 その他 ()

成績評価と基準 (比重や割合)

- 客観試験 (100%) 論述試験 (%) 口頭試験 (%) レポート (%)
 実地試験 (%) ポートフォリオ (%) シュミレーションテスト (%)
 観察記録 (%) 態度 (授業態度, 遅刻, 欠席を含む) (%)

成績評価方法

年度末に第3学年総合試験として、多肢選択式問題の客観試験を行い、67点以上で単位を認定する。(当該科目は、前期日程にも記載してある。)

オフィスアワー (曜日・時間・場所等具体的に記載してください)

曜日：月～金曜日 時間：17:00～18:00 場所：各科目講座研究室

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月3日	新海 航一	保存修復学	1) 歯の硬組織疾患の病因と病態を説明する。(E-3-2)-(①) 2) 歯の硬組織疾患の診察, 検査および診断法を説明する。(E-3-3-(1)-(①・②)) 3) 歯の硬組織疾患の治療法を説明する。(E-3-3-(1)-(③・④・⑤・⑥))
	準備学習	前期の講義内容全般について復習する。	
10月10日	佐藤 聡	歯周疾患治療学	1) 歯周組織を説明する。(E-3-1)-(⑥) 2) 歯周病の病因を説明する。(E-3-2)-(③, ④) 3) 歯周病の症状を説明する。(E-3-3)-(3)-(①) 4) 歯周病と全身疾患との関連を説明する。(E-3-3)-(3)-(①) 5) 歯周病の検査を説明する。(E-3-3)-(3)-(②) 6) 歯周治療を説明する。(E-3-3)-(3)-(②～⑤))
	準備学習	臨床歯周病学 第3版の学習内容を確認する。	
10月17日	水橋 史	顎口腔機能診断学	1) 顎関節の構造と機能を説明する。(E-2-1)-(⑥) 2) 顎関節疾患の症状, 診断法を説明する。(E-2-4)-(7)-(②) 3) 各種咬合器の構造と特徴について説明する。(E-3-4)-(1)-(⑩) 4) 咬合器の顎路調節法について説明する。(E-3-4)-(1)-(⑩))
	準備学習	チェアサイドで行う顎機能診査のための基本機能解剖 第1章, 臨床機能咬合学 Part13を読み, 要点を確認する。	
10月24日	北島佳代子	歯内療法学	1) 歯髓の構造と機能を説明する。(E-3-1)-(⑤) 2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の病因・病態を説明する。(E-3-2)-(②) 3) 歯髓・根尖歯周組織疾患の症状, 検査法, 診断, 治療法を説明する。(E-3-3)-(2)-(①))
	準備学習	歯内治療学 (第5版, 医歯薬出版) 第2章と第4章～第8章を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	授業内容	行動目標 (SBOs)
10月31日	小椋 一朗	歯科放射線学	1) 放射線治療を説明する。(E-2-4)-(6) 2) 病態と部位に応じた画像検査法を説明する。(E-2-4) 3) 画像所見を説明し、鑑別診断する。(E-2-4)
	準備学習	歯科放射線学 (第6版, 医歯薬出版) 第1～6章の要点を確認する。	
11月7日	水橋 史	全部床義歯補綴学	1) 無歯顎の病態を説明する。(E-3-4)-(2)-①) 2) 全部床義歯の特徴について説明する。(E-3-4)-(2)-③) 3) 全部床義歯の製作過程について説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 義歯と残存組織の変化について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭)
	準備学習	無歯顎補綴治療学 第4章～第11章を読み、要点を確認する。	
11月14日	渡會 侑子	部分床義歯補綴学	1) 部分床義歯の構造的特徴、種類、役割を説明する。(E-3-4)-(2)-③) 2) 部分床義歯の設計概念を説明する。(E-3-4)-(2)-⑤) 2) 部分床義歯治療の手順を説明する。(E-3-4)-(2)-⑫) 4) 義歯の術後管理について説明する。(E-3-4)-(2)-⑭)
	準備学習	歯学生のバーチャルデンチャー 第8章～第14章を読み、要点を確認する。	
11月21日	黒木 淳子	小児歯科学	3年生後期小児歯科学のシラバスに記載された各講義内容と他科目(基礎科目)との関連性について、コアカリキュラムに沿って総合的に理解する。
	準備学習	3年生後期小児歯科学のシラバスに記載された教科書内容の復習と予習	
11月28日	戸谷 収二	口腔顎顔面外科学	口腔・顎顔面領域に生じる疾患について、基礎系科目や他の臨床系科目との関連性を意識しながら各疾患の特徴、症状、検査、診断、治療法を説明する。
	準備学習	1～3年次の基礎系科目および口腔外科学の教科書およびノートを再確認する。	
12月5日	小林さくら子	歯科矯正学	1) セファログラムの撮影規格・種類・撮影目的を説明する。(E-4-1)-3) 2) 不正咬合の原因、種類、診査、診断、治療、および予防法を説明する。(E-4-1)-3) 3) 外科的矯正治療について述べる。(E-4-1)-1)
	準備学習	歯科矯正学 (第6版, 医歯薬出版) の第4・5・6・9・10・14・17・18章の要点を確認する。	
12月12日	上田 一彦	歯冠補綴架工義歯学	1) 咬合の原則、咬合・咀嚼障害を説明する。(E-3-4)-(1)-①) 2) クラウンブリッジの要件を説明する。(E-3-4)-(1)-①, ⑧) 3) 検査を説明する。 4) 補綴前処置の意義、目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-①) 5) 支台築造の意義、目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-③) 6) クラウン・ブリッジの意義、目的および種類を説明する。(E-3-4)-(1)-①, ②)
	準備学習	第6版 クラウンブリッジ補綴学 p19-36, 42-59, 68-90, 107-113, 295-301を予習する。	